

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	現代の国語	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	現代の国語（大修館書店）				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版）</li> <li>・現代の国語の基礎学習（尚文出版）</li> </ul>						

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。現代国語では、随想、評論、実用的文章等、様々なジャンルに触れ、読解方法を学び筆者の考えを理解していきます。筆者をはじめとする他者を意識し、自身のものの見方や考え方を広げるよう取り組んでください。学習への積極的・意欲的な取組が基本です。授業に出席し、真剣な態度で臨んでください。また、提出物は確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。
評価の仕方	定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価をします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 伝える・伝え合う、水の東西、伝わるように話す、わかりやすく書く 社会への視点①さまざまな規約 動的平衡としての生物多様性 意見を書く	評論では、文章の構成や展開、対比構造に着目し、読解方法を習得していきます。また、具体と抽象を理解し、文章の要約の仕方を学びます。活動的な学びでは、言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくります。相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につけ、相手に正確に伝わる話し方・書き方を学びます。
2学期 自然と人間の関係を通して考える、工夫して話す、魅力的な紹介文を書く、統計資料をもとに意見を書く、目的に沿った質問をする、「美しさの発見」について、説得力のある資料を作る、資料を用いて発表する	評論の読解を通して、共通点や相違点など様々な見方や思考の過程を習得し、自らの生き方に生かします。活動的な学びでは、様々な表現の工夫を知り、読み手が共感できるように、表現を工夫して書くようにします。また、目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深め、効果的な表現や資料の提示の仕方を工夫します。
3学期 贅沢を取り戻す、文章を読み取って主張を書く、白、討論をする、レポートを書く	評論では、文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味します。また、目的に即して、文章から必要な情報を読み取り、その情報を活用します。討論では、発言をするときの流れや司会者・参加者それぞれの役割を理解します。そして、自分の考えが伝わるよう、論理の流れに注意して発言し活発な話し合いにします。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	言語文化	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	言語文化（大修館書店）				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文単語パレット345（浜島書店）</li> <li>・必携 新明説漢文（尚文出版）</li> <li>・修訂版 新明説漢文ノート（尚文出版）</li> <li>・新版二訂 ニューエイジ古文 基礎1（第一学習社）</li> <li>・体系古典文法 九訂版（数研出版）</li> <li>・体系古典文法準拠ノート四訂版（数研出版）</li> <li>・LT漢文 必修（浜島書店）</li> </ul>						

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テスト等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。古典では、思想や時代等の古典常識を学び、作品を理解、鑑賞していきます。また、表現の実践として、目的や課題に応じた表現活動に取り組んでいきます。小説では、出来事が主人公に及ぼす影響を、表現に即して読み取ります。主人公をはじめとする他の人の立場や状況などを通して、自身のものの見方や考え方を広げるよう取り組んでください。学習への積極的・意欲的な取組が基本です。授業に出席し、真剣な態度で臨んでください。また、提出物は確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。
評価の仕方	定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価をします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 世界を見わたす窓、宇治拾遺物語、論語・孟子、羅生門、徒然草、蛇足、実体の美と状況の美、枕草子、漢詩	小説では、登場人物の性格や行動を読み取って心理を考察し、自身に置き換えて考えます。また、古文・漢文では、基本的事項を学び、人物像を読み取ったり情景を読み取ったりします。話の展開を捉え、作者が話に込めた意図を読み取ることで、私たちが共感する内容について考察します。
2学期 短歌・俳句、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集、漢詩、夢十夜、伊勢物語、臥薪嘗胆、外国語の不思議・日本語の不思議、鶏鳴狗盗	小説では、登場人物の行動や会話からの的確に心情を読み取って鑑賞します。古文・漢文では、各章段の教訓と滑稽味、和歌や俳句に込められた思いを学習し、作者や主人公の心理をたどり、現代の生活と比較して考えます。また、故事成語の意味や日本への影響を理解します。
3学期 土佐日記、城の崎にて、雑説、おくのほそ道	小説では、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解します。古文では、日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考えます。また、旅に出るまでのならわしについても学びます。漢文では、唐代の文章を音読し、漢文独特の口調を学びます。また、文章表現の特色と論の展開の仕方について理解します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	2単位	教科書	論理国語（大修館書店）				
副教材	意味から学ぶ頻出漢字3000（第一学習社）・新演習現代文アチーブ2四訂版（桐原書店）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

学習目標	<p>論理的な文章に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付け、現代の評論文を理解する力を養うとともに、自己の意見をまとめ表現する力、近・現代の社会や文化に対する興味と関心を育てます。</p> <p>また、学習を通して、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、実社会で役立つ国語力を育成します。</p>
学習方法	<p>授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テストを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。</p> <p>また、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。</p>
評価の仕方	<p>定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価をします。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 世界・言葉・私 芸術と文化 共同体の今	<p>論理的な文章の構成や展開、対比に注目して読解方法を身に付けます。また、的確に筆者の主張を読み取り、その思考方法や表現方法を学び、考察を深めます。</p> <p>様々な評論に触れることで、知的好奇心を育て、自分で課題を見つける姿勢を養います。</p>
2学期 科学の可能性 日本語の多様性 思考の枠組み	<p>具体と抽象について理解し、基本的な読解力を身に付けるとともに、複数の文章や資料を読み比べて総合的に読解する力を養います。</p> <p>また、自ら課題を設定し、考察してまとめることを目指します。</p>
3学期 社会の原点 グローバル化の先へ	<p>現代の社会や文化について、筆者の意見をもとに自らの考えを深め、視野を広げます。また根拠や引用に注目して、文章から必要な情報を読み取り、活用する力を身に付けます。</p> <p>書くこと、発表することを通して、伝える力・発信する力の向上を目指します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	論理国語（大修館書店）				
副教材	意味から学ぶ頻出漢字3000（第一学習社）・新演習現代文アチーブ2四訂版（桐原書店）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

学習目標	論理的な文章に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付け、現代の評論文を理解する力を養うとともに、自己の意見をまとめ表現する力、近・現代の社会や文化に対する興味と関心を育てます。 また、学習を通して、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、実社会で役立つ国語力を育成します。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テストを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。 また、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価をします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 世界・言葉・私 芸術と文化 共同体の今	論理的な文章の構成や展開、対比に注目して読解方法を身に付けます。また、的確に筆者の主張を読み取り、その思考方法や表現方法を学び、考察を深めます。 様々な評論に触れることで、知的好奇心を育て、自分で課題を見つける姿勢を養います。
2学期 科学の可能性 日本語の多様性 思考の枠組み	具体と抽象について理解し、基本的な読解力を身に付けるとともに、複数の文章や資料を読み比べて総合的に読解する力を養います また、自ら課題を設定し、考察してまとめることを目指します。
3学期 社会の原点 グローバル化の先へ	現代の社会や文化について、筆者の意見をもとに自らの考えを深め、視野を広げます。また根拠や引用に注目して、文章から必要な情報を読み取り、活用する力を身に付けます。 書くこと、発表することを通して、伝える力・発信する力の向上を目指します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	文学国語	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	2単位	教科書	文学国語（大修館書店）				
副教材	意味から学ぶ頻出漢字3000（第一学習社）・新演習現代文アチーブ2四訂版（桐原書店）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

学習目標	<p>文学的な文章を読解するための基本的な力を養うとともに、言語文化への理解を深め、自らのものの見方・考え方・感じ方を重視して、国語力を高めます。</p> <p>文学作品を読むことを通して、感性を磨き、深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付けます。また、文体の特徴や表現の効果について学び、自ら表現する力を伸ばします。</p>
学習方法	<p>授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テストを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解と鑑賞のみに偏らず、登場人物や作者の考え方や生き方にも注目し、読みを深めます。</p> <p>また、特徴的な表現や印象深い表現について理解を深め、自らの表現力の向上を目指しましょう。</p>
評価の仕方	<p>定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 随想・評論（一）想像と共感 小説（一）現代への視点 小説（二）語りの世界	<p>随想を読み、文章の構成・展開、表現の方法を理解するとともに作者のものの見方・考え方の特色について考察を深めます。小説では、文体や構成、展開、登場人物の心情描写等に注目し、的確に内容を読み取る力を養います。</p> <p>文学的な文章を読解する力を育み、共感する力や想像力を豊かにします。</p>
2学期 随想・評論（二）自然を愛す 小説（四）記憶の継承 小説（五）虚構の世界	<p>様々な優れた文章に触れることで、表現の特色や面白さを理解し、表現する力を・伝える力を養います。</p> <p>登場人物の言動や心の動き、描写の面白さ等を読み味わうとともに、自己の人生についても考え、理解を深めます。</p>
3学期 随想・評論（三）視点を広げる 詩・短歌・俳句	<p>時代やジャンルを超えて、多様な作品に触れることで日本の文化や伝統を多角的・多元的にとらえる姿勢を養い、思考力を培います。</p> <p>韻文の決まりを理解し、読解力・鑑賞力を高めます。また、自ら創造し表現することを目指します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典探究	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	精選 古典探究（大修館書店）				
副教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文単語325 改訂版（尚文出版）</li> <li>・これからの漢文 修訂一版（尚文出版）</li> <li>・これからの漢文ノート（尚文出版）</li> <li>・新訂版正しく読み・解くための力をつける古典ステップ2（数研出版）</li> <li>・体系古典文法 九訂版（数研出版）</li> <li>・体系古典文法準拠ノート四訂版（数研出版）</li> <li>・新版日本文学史必携（第一学習社）</li> </ul>						

**学習目標**  
 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。

**学習の方法**  
 授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テスト等を活用して、古文・漢文の知識と読解力、思考力、表現力を身に付けていきます。能動的に学習に励み、調べ学習や関連する教材との読み比べなどを通じて理解を深めましょう。授業には真剣な態度で臨んでください。また、提出物は確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。

**評価の仕方**  
 定期考査、授業態度、提出物、小テスト等を考慮し、最終的に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価をします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 1 説話 十訓抄 大江山いくの道 1 故事成語 塞翁馬 2 随筆（一） 徒然草 今日はそのことをなさんと思へど 2 漢詩－近体詩 早立白帝城（李白） 登岳陽楼（杜甫）	古文や漢文の文章を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ります。我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養します。そして古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培います。
2 学期 3 物語（一）伊勢物語 初冠 3 史伝－『史記』本紀 鴻門の会 4 随筆（二） 枕草子 宮に初めて参りたるころ 4 文章 桃花源記 5 物語（二） 源氏物語 若紫との出会い	古文の文章を読むことで、古人の豊かな情操にふれるとともに、個人の価値を尊重し創造性を培います。その中で我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づき、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養します。漢文では、当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養います。
3 学期 5 思想 賢哉回也（論語） 不忍人之心（孟子） 6 日記 土佐日記 羽 7 物語（三） 大鏡 競べ弓	古人の豊かな情操にふれ、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養するとともに、そして古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培います。「師弟」「本性」「自然」「法律」のテーマにふれ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。

**備考**

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	現代文B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	3単位	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B（第一学習社）				
副教材	完成現代文大学入学共通テスト対策改訂版（尚文出版） 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）						

学習目標	各単元の小説や評論を通して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けていきます。言語文化に対する興味・関心を深めるだけでなく、現代の社会や文化に対する興味・関心を育てていきます。思考力を深めるとともに、課題や問いに応じて適切に表現して、自分の考えをまとめ、深める力を身に付けます。
学習方法	授業を中心に、教科書、学習プリント、副教材等を活用して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。評論では、具体例の提示や文章の展開の仕方に着目しながら、筆者の考え方を理解していきます。小説では、登場人物の心理の変化を中心に読解を深めていきます。さらに、副教材の演習問題に取り組み、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を8割、現代文に対する興味・関心の程度、授業の態度、ノートや提出物の取組などを2割として、総合的に評価します。 漢字の読み書きなどの基礎・基本を評価するとともに、読解力や表現力を問う課題や学習への取組をより高く評価します。文章として表現する課題に意欲的に取り組んでください。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 世界を見つめる「ワスレナグサ」 小説を読む（三）「山椒魚」 新しい視点「記憶のゆがみ」	論理的な文章を読解するための基礎的な技術を学び、論理的思考力を鍛えます。文章の構成や題名に込められた筆者の思いについて話し合い、考察を深めます。 小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。また、多彩な表現の鑑賞を通して、小説の読解力を向上させます。
2 学期 小説を読む（三）「山月記」 短歌と俳句「折々のうた」 詩を味わう「食事」「こころ」 人間と社会「経験の教えについて」	主人公の矛盾した内面を丁寧に読み解いて理解するとともに、人間について考え、自己を見つめ直す契機とします。 各作品に詠まれている自然や人生を味わい、自分を取り巻く自然や生活を見つめる目を深めます。 論理的な文章を読解するための基礎的な技術を一層習熟させ、論理的思考力を鍛えます。
3 学期 生への思索「鏡としての他者」	現代的な問題を自分自身の問題として捉え、自らの生と社会との関わりについて再考を促し、より広い視野のもとに思考する姿勢を学びます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	現代文B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型5教科
単位数	4単位	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B（第一学習社）				
副教材	完成現代文大学入学共通テスト対策改訂版（尚文出版） 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）						

学習目標	各単元の小説や評論を通して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けていきます。言語文化に対する興味・関心を深めるだけでなく、現代の社会や文化に対する興味・関心を育てていきます。思考力を深めるとともに、課題や問いに応じて適切に表現して、自分の考えをまとめ、深める力を身に付けます。
学習方法	授業を中心に、教科書、学習プリント、副教材等を活用して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。評論では、具体例の提示や文章の展開の仕方に着目しながら、筆者の考え方を理解していきます。小説では、登場人物の心理の変化を中心に読解を深めていきます。さらに、副教材の演習問題に取り組み、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を8割、現代文に対する興味・関心の程度、授業の態度、ノートや提出物の取組などを2割として、総合的に評価します。 漢字の読み書きなどの基礎・基本を評価するとともに、読解力や表現力を問う課題や学習への取組をより高く評価します。文章として表現する課題に意欲的に取り組んでください。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 世界を見つめる「ワスレナグサ」 小説を読む（三）「山椒魚」 新しい視点「記憶のゆがみ」	論理的な文章を読解するための基礎的な技術を学び、論理的思考力を鍛えます。文章の構成や題名に込められた筆者の思いについて話し合い、考察を深めます。 小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。また、多彩な表現の鑑賞を通して、小説の読解力を向上させます。
2 学期 小説を読む（三）「山月記」 短歌と俳句「折々のうた」 詩を味わう「食事」「こころ」 人間と社会「経験の教えについて」	主人公の矛盾した内面を丁寧に読み解いて理解するとともに、人間について考え、自己を見つめ直す契機とします。 各作品に詠まれている自然や人生を味わい、自分を取り巻く自然や生活を見つめる目を深めます。 論理的な文章を読解するための基礎的な技術を一層習熟させ、論理的思考力を鍛えます。
3 学期 生への思索「鏡としての他者」	現代的な問題を自分自身の問題として捉え、自らの生と社会との関わりについて再考を促し、より広い視野のもとに思考する姿勢を学びます。

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	現代文B	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B（第一学習社）				
副教材	完成現代文大学入学共通テスト対策改訂版（尚文出版） 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）						

学習目標	各単元の小説や評論を通して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けていきます。言語文化に対する興味・関心を深めるだけでなく、現代の社会や文化に対する興味・関心を育てていきます。思考力を深めるとともに、課題や問いに応じて適切に表現して、自分の考えをまとめ、深める力を身に付けます。
学習方法	授業を中心に、教科書、学習プリント、副教材等を活用して、現代文に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。評論では、具体例の提示や文章の展開の仕方に着目しながら、筆者の考え方を理解していきます。小説では、登場人物の心理の変化を中心に読解を深めていきます。さらに、副教材の演習問題に取り組み、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を8割、現代文に対する興味・関心の程度、授業の態度、ノートや提出物の取組などを2割として、総合的に評価します。 漢字の読み書きなどの基礎・基本を評価するとともに、読解力や表現力を問う課題や学習への取組をより高く評価します。文章として表現する課題に意欲的に取り組んでください。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 世界を見つめる「ワスレナグサ」 小説を読む（三）「山椒魚」 新しい視点「記憶のゆがみ」	論理的な文章を読解するための基礎的な技術を学び、論理的思考力を鍛えます。文章の構成や題名に込められた筆者の思いについて話し合い、考察を深めます。 小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。また、多彩な表現の鑑賞を通して、小説の読解力を向上させます。
2 学期 小説を読む（三）「山月記」 短歌と俳句「折々のうた」 詩を味わう「食事」「こころ」 人間と社会「経験の教えについて」	主人公の矛盾した内面を丁寧に読み解いて理解するとともに、人間について考え、自己を見つめ直す契機とします。 各作品に詠まれている自然や人生を味わい、自分を取り巻く自然や生活を見つめる目を深めます。 論理的な文章を読解するための基礎的な技術を一層習熟させ、論理的思考力を鍛えます。
3 学期 生への思索「鏡としての他者」	現代的な問題を自分自身の問題として捉え、自らの生と社会との関わりについて再考を促し、より広い視野のもとに思考する姿勢を学びます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	3単位	教科書	古典B（教育出版）				
副教材	体系古典文法 九訂版（数研出版）・新明説漢文（尚文出版）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）・読み解く古文3（浜島書店）・漢文アチーブ3（桐原書店）・読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）						

学習目標	古文と漢文の学習を通して、古典の基礎的・基本的な知識を身に付け、古典を読解する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てます。また、古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして読解を深め、受験に対応する力を身に付けるとともに、人生を豊かにする態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、課題プリント、小テスト、副教材等を活用して、古典に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。文法的知識、時代背景などの古典常識を踏まえて、古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、鑑賞します。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、古典でのものの見方、感じ方、考え方を学びます。文法問題・文章問題の演習を取り入れ、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を7割、授業の態度、古典に対する興味・関心の程度、ノートや提出物の取組などを3割として、総合的に評価します。 古典単語や古典文法などの基礎基本の知識力・理解力を評価するとともに、口語訳をはじめ、読解力を問う課題や学習をより高く評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 〈古文〉 『枕草子』を読む 『大鏡』を読む 日記を読む 〈漢文〉 逸話 史話	平安時代の代表的な随想・歴史物語・女流日記文学を読み味わい、作者の生きた時代や作者の思いを読み取ります。  語句・句法に注意しながら口語訳をし、主題を把握したり、その時代に生きた人々の姿に触れたりすることで考察を深めます。
2 学期 〈古文〉 『源氏物語』を読む 評論を読む 〈漢文〉 史記 文 思想	話の構成や展開・人間関係を理解し、登場人物の行動や心理を読み味わいます。 和歌の根底にある発想を知ることで、作品の読解・鑑賞力を養うとともに、我が国の伝統・文化について理解を深めます。 長文の読解を通して、語句や句型の知識の定着と内容把握能力の向上を図ります。 中国古代の思想家の文章を読み、作者の人間・社会に対する思想を読み取ります。
3 学期 〈古文〉 『枕草子』を読む	筆者の感性と文体の魅力に触れ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。
備考	

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型5教科
単位数	3単位	教科書	古典B（教育出版）				
副教材	体系古典文法 九訂版（数研出版）・新明説漢文（尚文出版）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）・LT古文 LT3（浜島書店）・力をつける漢文 ステップ3（数研出版）・読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）・共通テスト国語対策問題集 標準から実践へ 三訂版（桐原書店）						

学習目標	古文と漢文の学習を通して、古典の基礎的・基本的な知識を身に付け、古典を読解する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てます。また、古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして読解を深め、受験に対応する力を身に付けるとともに、人生を豊かにする態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、課題プリント、小テスト、副教材等を活用して、古典に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。文法的知識、時代背景などの古典常識を踏まえて、古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、鑑賞します。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、古典でのものの見方、感じ方、考え方を学びます。文法問題・文章問題の演習を取り入れ、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を7割、授業の態度、古典に対する興味・関心の程度、ノートや提出物の取組などを3割として、総合的に評価します。 古典単語や古典文法などの基礎基本の知識力・理解力を評価するとともに、口語訳をはじめ、読解力を問う課題や学習をより高く評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	<p>〈古文〉 『枕草子』を読む 『大鏡』を読む 日記を読む 〈漢文〉 逸話 史話</p> <p>平安時代の代表的な随想・歴史物語・女流日記文学を読み味わい、作者の生きた時代や作者の思いを読み取ります。</p> <p>語句・句法に注意しながら口語訳をし、主題を把握したり、その時代に生きた人々の姿に触れたりすることで考察を深めます。</p>
2 学期	<p>〈古文〉 『源氏物語』を読む 評論を読む 〈漢文〉 史記 文 思想</p> <p>話の構成や展開・人間関係を理解し、登場人物の行動や心理を読み味わいます。</p> <p>和歌の根底にある発想を知ることによって、作品の読解・鑑賞力を養うとともに、我が国の伝統・文化について理解を深めます。</p> <p>長文の読解を通して、語句や句型の知識の定着と内容把握能力の向上を図ります。</p> <p>中国古代の思想家の文章を読み、作者の人間・社会に対する思想を読み取ります。</p>
3 学期	<p>〈古文〉 『枕草子』を読む</p> <p>筆者の感性と文体の魅力に触れ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典B	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	古典B（教育出版）				
副教材	体系古典文法 九訂版（数研出版）・新明説漢文（尚文出版）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）・LT古文 LT3（浜島書店）・力をつける漢文 ステップ3（数研出版）・読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店）・共通テスト国語対策問題集 標準から実践へ 三訂版（桐原書店）						

学習目標	古文と漢文の学習を通して、古典の基礎的・基本的な知識を身に付け、古典を読解する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てます。また、古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして読解を深め、受験に対応する力を身に付けるとともに、人生を豊かにする態度を育てます。
学習方法	授業を中心に、課題プリント、小テスト、副教材等を活用して、古典に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けます。文法的知識、時代背景などの古典常識を踏まえて、古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、鑑賞します。 人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、古典でのものの見方、感じ方、考え方を学びます。文法問題・文章問題の演習を取り入れ、基礎事項の定着を図ります。
評価の仕方	各定期考査の成績を7割、授業の態度、古典に対する興味・関心の程度、ノートや提出物の取組などを3割として、総合的に評価します。 古典単語や古典文法などの基礎基本の知識力・理解力を評価するとともに、口語訳をはじめ、読解力を問う課題や学習をより高く評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 〈古文〉 『枕草子』を読む 『大鏡』を読む 日記を読む 〈漢文〉 逸話 史話	平安時代の代表的な随想・歴史物語・女流日記文学を読み味わい、作者の生きた時代や作者の思いを読み取ります。  語句・句法に注意しながら口語訳をし、主題を把握したり、その時代に生きた人々の姿に触れたりすることで考察を深めます。
2 学期 〈古文〉 『源氏物語』を読む 評論を読む 〈漢文〉 史記 文 思想	話の構成や展開・人間関係を理解し、登場人物の行動や心理を読み味わいます。 和歌の根底にある発想を知ることによって、作品の読解・鑑賞力を養うとともに、我が国の伝統・文化について理解を深めます。 長文の読解を通して、語句や句型の知識の定着と内容把握能力の向上を図ります。 中国古代の思想家の文章を読み、作者の人間・社会に対する思想を読み取ります。
3 学期 〈古文〉 『枕草子』を読む	筆者の感性と文体の魅力に触れ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにします。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	歴史総合	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	「歴史総合」（実教出版）				
副教材							

学習目標	近現代史における「世界との中の日本」を広く相互的な視野から捉えながら、①歴史を理解する力、②歴史に関する様々な情報を適切に調べてまとめる力、③歴史事象の意味や特色について多面的・多角的に考察して説明・議論できる力、④近現代史の事象についてより良い社会の実現のために探究する態度、⑤日本国民としての自覚・自国の歴史への愛情・他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚一等の資質・能力を育成します。
学習の方法	教科書準拠『歴史総合 演習ノート』（実教出版）を使用し、学習活動を行います。定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。長期休暇等で出される課題や課題の確認テストで学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	授業へ参加する態度や、定期考査の点数、ノート作りや提出物の状況などを総合的に評価します。 歴史総合の学習に対して意欲的に取り組んでいるか、わが国および世界の歴史の諸事象に関する知識が身に付いているか、資料から読み取ったり考えたりすることができているか、わが国および世界の歴史の諸事象について考え、自分の意見を表現できているか、といった観点で総合的な評価を行います。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代	日本の安定と動揺、ヨーロッパのアジア進出と争い 国民国家を形成する欧米、変容をせまられるアジア諸国 国民国家の成立と世界各地での民族的な抵抗 帝国主義による世界分割の動きとアフリカ・東アジア・太平洋
2学期 第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	第一次世界大戦の展開と影響、大戦後の国際秩序の形成 第二次世界大戦へ向かう動きと大戦後にはじまった東西冷戦
3学期 第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	冷戦の深刻化と、植民地の独立や日本の主権回復に与えた影響 米ソ二大国主導から多極化、国際秩序の変化 世界が、そしてあなたたちが直面している課題

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	「新地理総合」（帝国書院）				
副教材	「新地理総合ノート」（帝国書院）、地理統計要覧（二宮書店）、新編地理資料（東京法令出版）						

学習目標	現代世界の世界的知識を深め、系統地理的、地誌的な探究の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方や地理的技能を身につけます。また、地図帳の利用の仕方を身につけ、地球的視野から現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養います。
学習の方法	教科書準拠『新地理総合ノート』（帝国書院）を使用し、学習活動を行います。定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。長期休暇等で出される課題や課題の確認テストで学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の方	授業へ参加する態度や、定期考査の点数、ノート作りや提出物の状況などを総合的に評価します。 地理総合の学習に対して意欲的に取り組んでいるか、地理情報システムや防災などに関する知識が身に付いているか、資料から読み取ったり考えたりすることができているか、自分の意見を表現できているかといった観点で総合的な評価を行います。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界	球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気付き、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 今昔マップ on the web を操作することで地理情報システムの特徴を把握します。
2 学期	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力	写真や具体例を用いて、文化と宗教、人々の暮らし、その多様性について理解します。 雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。 写真や主題図を用いて、世界の食文化の多様性と農業の地域性について考察します。 熱帯林破壊や砂漠化によってもたらされた問題をふまえ、問題解決の在り方について追究します。
3 学期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	日本列島の地帯構造とプレートの境目の主題図を用いて、日本の地形の特性について考察します。 地形の特性と自然災害との関係性について、主題図や衛星画像などを用いて考察します。 地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察します。 自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察します。
備考		

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	日本史探求	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	3単位	教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理 ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	私たちの国の歴史がどのように展開してきたのかを、地理的な条件や世界の歴史との関連の中で考えます。そして、私たちの国の伝統と文化の特色についてしっかりと理解するとともに、「どういう原因（背景）」があったために「何が起こり」、そのため「結果としてどうなったか。」を、自分自身で考え、他の人に伝えることができる力を身に付けます。このことで、国際社会の中で、主体的に生きる資質を養うことを目標としています。
学習方法	まずは基本的な用語を確実に理解しましょう。授業中に必ず説明があります。その用語が教科書のどこに書かれているかを確認しましょう。その時、前後の文章を合わせて読みましょう。一つの単元が終わったら、通して教科書を読みましょう。細切れだった知識が"流れ"となります。
評価の仕方	各学期の評価は定期考査を重視します。それに課題等の提出状況や授業に取り組む姿勢（課題テスト、訂正ノートを含む）を加味して評価します。 年間の評価は各学期の評価を総合的に判断して、年間の成績を評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	地球環境の変化により日本列島が成立し、大陸文化を受容しながらも独自の文化的発展を遂げていった過程について学習します。 ヤマト政権と古墳との関係やヤマト政権が大陸とどのような交渉をもったのかを学習します。 中国に強力な統一王朝が誕生したことにより、我が国も国家組織の形成を進める必要が生じたことを理解し、その中央集権化の過程と特色について学習します。 藤原氏による摂関政治の展開と、文化の国風化について学習します。また、律令体制の行き詰まりから地方政治が大きく変化していく中で、武士が台頭していく過程についても考察します。
2学期 第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	院政がどのように始まったのかを考察するとともに、その後の平氏の台頭について学習します。 鎌倉幕府の成立・発展と衰退の過程について、当時の対外関係も踏まえながら学習します。 武家社会の変化を背景とした、鎌倉幕府滅亡後の権力争いについて学習します。
3学期 第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	ヨーロッパ人の東アジア進出について考察するとともに、織田信長から豊臣秀吉に至る天下統一の過程を学習します。 江戸幕府成立までの流れと幕藩体制が確立されていく中で発展した諸産業と、制限された対外関係について学習します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	世界史探求	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	3単位	教科書	詳説世界史探究（山川出版社）				
副教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）						

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察します。 また、歴史学習を通じて、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養います。
学習の方法	授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して世界の歴史の流れを整理・理解していきます。 人名や事件の名称を単に暗記するのではなく、歴史事象の背景や結果とその影響などを総合的に理解・考察していくことが大切です。 定期考査ごとに学習内容をまとめ、知識の整理をはかることが必要です。
評価の方法	定期考査に加え、提出物などを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。世界史に関する知識理解はもちろん、歴史に対する興味関心の程度、過去の出来事を分析し、現在や未来に結びつけて物事を考察する歴史的思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	四大文明のほか南北アメリカ文明、東南アジアの古代の諸文明を学習します。 東アジアについては秦漢帝国の成立までを中央ユーラシアを舞台に展開された遊牧民の世界との関わりを通して学習します。 古代インド世界については、仏教とのかかわりを通して学習します。 古代地中海世界については、ローマ帝国の成立までのギリシャ・ローマ世界について学習します。
2 学期 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	遊牧民とオアシス民の活動や、元朝による南宋の征服にいたるまでの東アジアの歴史を、中国を中心に、朝鮮や日本の周辺国家の形成と関連付けて学習します。 7世紀のイスラーム世界の成立から15世紀ころまでのイスラーム世界の拡大について学習します。 西ローマ帝国滅亡後の、中世とよばれる時代について、フランク王国、封建社会、十字軍等を学習します。 モンゴル部族によるユーラシア大陸の支配と、中央アジアにおけるトルコ化とイスラーム化について学習します。
3 学期 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄	大航海時代、ルネサンス、宗教改革について学習します。 ヨーロッパ諸国の海外進出と重商主義、17～18世紀のヨーロッパの文化と社会について学びます。14～18世紀頃までのアジア諸地域について、各国の興亡を中心に学習します。

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	地理B	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	新詳地理B（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	新地理要点ノート（啓隆社）、新編地理資料（東京法令出版）、地理統計要覧（二宮書店）						

学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標としています。
学習の方法	授業を中心に教科書、資料集、地図帳、データブックを活用して地理的技能の向上を目指し、「地理的なものの見方・考え方」を習得していきます。 地名や事象名を単に暗記するのではなく、成立の原因や影響などを総合的に理解・考察していくことが大切です。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックなどを活用して知識の整理をはかる必要があります。
評価の仕方	定期考査に加え、提出物、小テストの成績などを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地理に関する知識理解はもちろん現代世界の諸事象に対する興味関心の程度、諸事象を地理的に分析し、考察する地理的思考力などを総合的に評価します。さらに、読図などの地理的技能の習得状況についても評価します。

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	第3章 人口、村落・都市	1節 世界の人口 2節 村落と都市	世界の人口について、世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を学習します。 村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察します。
	第4章 生活文化、民族・宗教	1節 生活文化 2節 民族と宗教	生活文化について、衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について学習します。 民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察します。
		3節 民族・領土問題	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を学習します。
2 学 期	第Ⅲ部 現代世界の諸地域	第1章 地誌の考察方法 第2章 各地域	地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解して、それぞれの地域を地誌的に考察します。
		第3章 現代世界と日本	日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて学習します。 大学入試問題等を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。
3 学 期		大学入試への対策	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストなどへの対策を行います。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	4単位	教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理 ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	私たちの国の歴史がどのように展開してきたのかを、地理的な条件や世界の歴史との関連の中で考えます。そして、私たちの国の伝統と文化の特色についてしっかりと理解するとともに、「どういう原因（背景）」があったために「何が起こり」、そのため「結果としてどうなったか。」を、自分自身で考え、他の人に伝えることができる力を身に付けます。そのことで、国際社会の中で、主体的に生きる資質を養うことを目標としています。
学習の方法	5年生で学んだ内容をもとに、さらに詳しく学習します。 まずは基本的な用語を確実に理解しましょう。授業中に必ず説明があります。その用語が教科書のどこに書かれているかを確認しましょう。その時、前後の文章を合わせて読みましょう。一つの単元が終わったら、通して教科書を読みましょう。細切れだった知識が"流れ"となります。
評価の仕方	各学期の評価は定期考査を重視します。それに課題等の提出状況や授業に取り組む姿勢（課題テスト、訂正ノートを含む）を加味して評価します。 年間の評価は各学期の評価を総合的に判断して、年間の成績を評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第3部 近世 第6章 幕藩体制の成立 第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺 第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	国内や国際的な状況の変化から幕藩体制が変容し、近代（明治時代）を迎えたことを学習します。  明治維新以降の近代化の推進過程を、国内外の政治の動向や思想・文化に着目しながら考察します。
2 学期 第10章 近代日本とアジア 第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本 課題学習	国際社会の中の日本の立場に着目して、二度の世界大戦が我が国やアジア諸国の経済や社会に与えた影響を学習します。 占領下の改革、高度成長を経て、現在の日本に至っていることを理解し、これからの日本の在り方について考察します。  大学入試問題等を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。
3 学期 課題学習	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストや国公立大学の個別学力試験、私立大学の入試などへの対策を行います。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	4単位	教科書	詳説世界史 改訂版（山川出版社）				
副教材	ニュースページ世界史詳覧（浜島書店） 要点整理ゼミナール世界史（浜島書店）						

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察します。 また、歴史学習を通じて、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養います。
学習の方法	授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して世界の歴史の流れを整理・理解していきます。 人名や事件の名称を単に暗記するのではなく、歴史事象の背景や結果とその影響などを総合的に理解・考察します。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、「チェックリスト世界史B用語問題集」（啓隆社）などを活用して知識の整理をはかります。
評価の方	定期考査に加え、提出物、小テストの成績などを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。世界史に関する知識理解はもちろん、歴史に対する興味関心の程度、過去の出来事を分析し、現在や未来に結びつけて物事を考察する歴史的思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第9章 近世ヨーロッパの展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	主権国家体制の特色と、それを形成したヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を学びます。 産業革命の背景と展開、アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を学習します。 ウィーン体制の成立と、自由主義とナショナリズムの運動、国民国家の形成過程を学習します。 欧米諸国のアジアへの干渉と植民地化への動きと、アジアのナショナリズムの萌芽を学習します。 帝国主義時代における欧米諸国の世界分割をめぐる競合と、世界の一体化と社会の変容を学習します。
2学期 第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の自立 第16章 現代の世界 主題学習 発展的な学習	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序の変化をもたらしたこと、第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを学習します。 冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したこと、A・A諸国の躍進、日本・西欧の高度経済成長を学習します。 軍縮と緊張緩和による冷戦の解消、市場経済の世界化が進み、地球規模での相互依存の高まりを学習します。 大学入試問題等を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。
3学期 大学入試への対策	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストや国公立大学の個別学力試験、私立大学の入試などへの対策を行います。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	公共	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2	教科書	高等学校 公共（第一学習社）				
副教材	最新公共資料集（第一学習社）・公民科ワークブック公共編（愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会公民部門編）・ニューコンパス 公共（とうほう）						

学習目標	<p>社会に関する基本的な問題を多面的・多角的にとらえて、グローバル化の進展を視野に入れながら学んでいきます。</p> <p>社会事象について考察する基本的な枠組みを習得し、国際社会や地域社会で起こる諸課題の解決に主体的に参画する能力を育てます。</p> <p>国際社会や地域社会に対する関心を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を養い、公共性や主体性などの人格の形成を目指します。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書や資料集・副教材を活用しながら、現代社会の事象を倫理・政治・経済・国際社会など多様な角度から理解していきます。</p> <p>用語の名称を単に暗記するのではなく、現代の諸課題を自分自身の課題に置き換えて、主体的に学習に取り組むことで考察を深めます。</p> <p>年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理をはかります。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、提出物など平常の取組などを総合的に評価します。</p> <p>各学期の評価を総合的に判断して、年間の成績を評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章 公共的な空間を作る私たち</p> <p>第2章 公共的な空間における人間としての在り方</p> <p>第3章 公共的な空間における基本的原理</p> <p>青年期やキャリア形成について学び、考察します。</p> <p>環境問題や生命倫理について学び、判断するための価値観を身に付けていきます。</p> <p>民主主義の基本原理について学び、よりよい意思決定について考察していきます。</p>
2 学期	<p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p> <p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>法の意義や種類について学び、自分たちの生活と関連付けながら主体的に考察を深めます。</p> <p>選挙の意義や地方政治について学習を進め、主権者としての政治参加について思索します。</p> <p>金融や経済の機能や役割を学び、諸課題について理解を深めます。</p>
3 学期	<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>持続可能な社会を形成するために、ケーススタディを通して、社会に参画する知恵や姿勢を身に付けます。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	倫理	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	3単位	教科書	高等学校 新倫理 新訂版（清水書院）				
副教材	テオリア最新倫理資料集新版（第一学習社）・公民科ワークブック 倫理編（愛媛県高等学校教育研究会 地理歴史公民部会）						

学習目標	<p>青年期における心身の特徴を把握し、青年期の課題克服の方法について学び、良識ある公民として必要な能力と態度を育みます。</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術の持つ意義について理解し、人間としての在り方生き方について考えを深めていきます。</p> <p>日本の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自分との関わりを理解し、日本人としての自覚を促します。</p> <p>現代の倫理的課題について学び、よりよい社会を主体的に形成しようとする意欲と態度を育てます。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して、青年期の課題の特徴、古代から近現代にわたる世界の思想・宗教、日本の思想・文化について整理・理解していきます。</p> <p>人名や用語の名称を単に暗記するのではなく、様々な宗教・思想が何を問題と考え、どのような答えを見いだしてきたかを、自分自身の課題と重ね合わせて考えることで思索を深めます。</p> <p>年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理を図ることが必要です。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、提出物など平常の取組などを総合的に評価します。また、各学期の評価を総合的に判断して、年間の成績を評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 青年期の課題と自己形成 第2章 人間としての自覚 第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第4章 現代に生きる人間の倫理	<p>青年期の特徴と発達課題について学びます。</p> <p>ギリシャ思想・世界三大宗教・中国思想におけるものの見方・考え方を理解し、自分たちにとってどのような意味を持つのかを考えます。</p> <p>日本の風土や伝統、外来思想とその受容の大きな流れを学び、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について考えます。</p> <p>近現代の思想を、自分自身の課題と重ね合わせながら理解を深めます。</p>
2学期 第5章 現代の諸課題と倫理 演習	<p>生殖医療・遺伝子操作・脳死臓器移植・末期医療・地球環境問題を、多面的・多角的に考察します。大学入試センター試験の過去の問題を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。</p>
3学期 大学入学共通テストへの対策	<p>進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストへの対策を行います。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学 I	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	新編 数学 I（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー数学 I + A（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学 I + A（東京書籍）						

学習目標	<p>集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力、態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。</p> <p>数学に関する関心・意欲・態度や表現の能力、理解の能力、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	集合と命題に関する基本的な概念を理解します。  2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識し、それらを事象の考察に活用します。
2学期 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。  統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握します。
3学期	

備考	各定期考査までに、数学 I または II と数学 A は直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	---

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅱ＋B（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	式と証明、複素数と方程式の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。
評価の仕方	定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。 数学に関する関心・意欲・態度や表現の能力、理解の能力、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	
2学期	
3学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式
	3次の乗法公式や因数分解、及び整式の除法や分数式の四則演算について理解し、それらの計算をします。 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明します。 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算をします。また、2次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解します。 因数定理について理解し、それらを用いて簡単な高次方程式を解きます。

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学A	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	新編 数学A（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアーI+A（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学I+A（東京書籍）						

学習目標	<p>場合の数と確率、図形の性質の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学と人間の活動について、数学的活動を通して、それらを論理的に考察できるようにします。</p> <p>数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。</p> <p>数学に関する関心・意欲・態度や表現の能力、理解の能力、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	<p>場合の数についての基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。</p> <p>具体的な事象の考察を通じて順列及び組合せについて理解し、それらの総数を求めます。</p>
2学期 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	<p>独立な試行や条件付き確率の意味を理解し、その確率を求めます。また、それを事象の考察に活用します。</p> <p>平面図形や空間図形についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。</p> <p>三角形、円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明します。</p>
3学期 第2章 図形の性質 第2節 空間図形	<p>空間における直線や平面の位置関係についての理解を深めます。また、それを事象の考察に活用します。</p>

備考	各定期考査までに、数学IまたはIIと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	---



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型5教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ+B（東京書籍）						

学習目標	<p>図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 章末問題 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 章末問題	<p>直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを理解します。</p> <p>三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。</p>
2学期 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 章末問題 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 章末問題	<p>指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。</p> <p>具体的な事象を通して微分・積分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。</p>
3学期	問題演習
	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 書き込み式シリーズ〔標準〕教科書傍用 Study-Upノート 数学Ⅱ（数研出版）						

学習目標	<p>図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	<p>直線や円の方程式について学習し、円と直線の間接関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを理解します。</p> <p>三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。</p>
2学期 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	<p>指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。</p> <p>具体的な事象を通して微分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることができるようにします。</p>
3学期 第3節 積分法 問題演習	<p>具体的な事象を通して積分の考えを理解します。それを用いて面積を求めることができるようにします。</p> <p>問題演習を通して、知識の定着を図ります。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIRE 数学Ⅱ+B（東京書籍）						

学習目標	<p>図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法の考えについて、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し、定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p> <p>週4時間で2学期末までに履修を終了します。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	<p>直線や円の方程式について学習し、円と直線の間接関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを理解します。</p> <p>三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導き、利用できるようにします。</p>
2学期 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	<p>指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。</p> <p>具体的な事象を通して微分・積分の考え方を理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。</p>
3学期	

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Cと数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	1単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかり、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週4時間で3学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。 また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	
2学期	
3学期	<p>第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 章末問題</p> <p>ベクトルの基本的な概念や法則を理解し、その加法・減法など簡単な演算を学習します。また、ベクトルの内積とその性質について学習します。 位置ベクトルという考え方を導入し、線分の分点や図形の重心をベクトルで表します。またこの考え方を、図形問題に応用させる方法を学習します。</p> <p>第2章 空間のベクトル 章末問題</p> <p>平面のベクトルの場合と同様に、空間のベクトルを定義します。そして空間における点・直線・平面とその相互関係を整理して、いろいろな事象の考察が空間のベクトルによってできることを理解します。</p>

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Cと数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型5教科
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学II+B（東京書籍）						

学習目標	<p>数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列および数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号 $\Sigma$ を用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期 問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学IIまたは数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	---

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	<p>数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p> <p>数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、表現・処理、知識・理解のそれぞれの観点からも総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列および数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号 $\Sigma$ を用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期 問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION LEGEND数学Ⅲ（東京書籍）						

学習目標	<p>数列の極限、関数の極限、微分法、積分法について理解します。また、それらの内容の基礎概念を理解し、その基本的な知識や技能を習得します。</p> <p>知識や技能を的確に利用して問題解決を図る能力を養い、数学的な見方やものの考え方のよさを認識できるようにします。</p>
学習の方法	<p>予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。</p> <p>副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。</p>
評価の仕方	<p>中間考査と期末考査の成績、授業ノート、演習プリント、確認テスト、月ごとの課題などの提出物の内容、学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。</p> <p>※2学期の中間考査までの評価をもって、数学Ⅲの評価とします。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 第5章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第6章 微分の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	<p>いろいろな数列の極限や数列の和の極限、関数の極限の概念や性質を理解し、極限を求められるようにします。</p> <p>微分可能性と連続性の概念及びその関係を理解し、様々な関数における微分の演算・技法を習得します。また、高次導関数の概念を理解します。</p> <p>様々な問題において、微分法を活用します。応用力を身に付けるとともに、グラフの概形をかけるようにします。また、速度、加速度の概念を理解します。</p>
2 学期 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	<p>扱う関数の対象を広げ、積分法の基礎を理解し、その計算を習得します。</p> <p>いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の計算や体積、回転体の体積の計算を求められるようにします。</p>
3 学期	

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究 I	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ I 型3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究 I (今治東中等教育学校)				
副教材	改訂版 書き込み式シリーズ [標準] 教科書傍用 Study-Upノート 数学II (数研出版)						

学習目標	<p>数学 I・Aでの既習内容を踏まえ、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。</p>
学習の方法	<p>問題集と演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。</p> <p>定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。</p>
評価の仕方	<p>定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。</p> <p>また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解のそれぞれの観点からも、総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容				
	<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>主な学習内容</th> </tr> </table>	単元	主な学習内容	
単元	主な学習内容			
1 学期	<table border="1"> <tr> <td>第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域</td> <td rowspan="2">                     直線や円の方程式について知識を深め、円と直線の関係性を理解する力を養います。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを学習します。                      三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小を求めることができる力を養います。加法定理を活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、それを利用できるようにします。                 </td> </tr> <tr> <td>第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理</td> </tr> </table>	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	直線や円の方程式について知識を深め、円と直線の関係性を理解する力を養います。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを学習します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小を求めることができる力を養います。加法定理を活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、それを利用できるようにします。	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理
第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	直線や円の方程式について知識を深め、円と直線の関係性を理解する力を養います。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりをもった部分を表すことを学習します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小を求めることができる力を養います。加法定理を活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、それを利用できるようにします。			
第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理				
2 学期	<table border="1"> <tr> <td>第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数</td> <td rowspan="3">                     指数関数と対数関数について、指数・対数の関係と計算方法を学習します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解く力を養います。                      具体的な事象を通して、微分の考えを深めます。それを用いて関数の値の変化へと習熟度を高めます。また、具体的な事象を通して、積分の考えを深めます。それを用いて面積を求めることができる力を養います。                 </td> </tr> <tr> <td>第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法</td> </tr> </table>	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数と対数関数について、指数・対数の関係と計算方法を学習します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解く力を養います。 具体的な事象を通して、微分の考えを深めます。それを用いて関数の値の変化へと習熟度を高めます。また、具体的な事象を通して、積分の考えを深めます。それを用いて面積を求めることができる力を養います。	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法
第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	指数関数と対数関数について、指数・対数の関係と計算方法を学習します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解く力を養います。 具体的な事象を通して、微分の考えを深めます。それを用いて関数の値の変化へと習熟度を高めます。また、具体的な事象を通して、積分の考えを深めます。それを用いて面積を求めることができる力を養います。			
第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法				
3 学期		<table border="1"> <tr> <td>問題演習</td> <td>                     問題演習を通して、知識の定着を図ります。                 </td> </tr> </table>	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。
問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。			

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅱ(今治東中等教育学校)				
副教材	はぎ取り式 練習ドリル 数学Ⅰ 標準編(数研出版)						

学習目標	主に数学Ⅰに関する復習を通して、基礎事項の定着を深め、発展的な問題にも取り組みます。 またその知識や技能を深め、活用することで数学的な考え方やものの見方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。
評価の仕方	定期考査の成績、確認テスト、演習プリント、授業ノートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 数と式 式の計算、実数、1次不等式 第2章 集合と命題 集合、命題と条件、命題とその逆・裏・対偶	各計算方法や性質、公式の理解を深め、様々な整式の計算の習熟度を高めます。 集合の概念を学び、必要十分条件、逆・裏・対偶等の命題の証明に習熟します。
2学期 第3章 2次関数 2次関数のグラフ、最大・最小 2次方程式・不等式、応用 第4章 図形と計量 正弦・余弦定理、図形への応用 第5章 データの分析 代表値、散らばりと四分位数、分散と標準偏差	2次関数の基本事項を定着させ、そこから発展的な問題を解く力を養います。グラフのイメージを元に場合分けの問題も学習します。 三角比の基本事項を定着させ、より発展的な問題を解く力を養います。 データの代表値について理解を深めるとともに、様々な値からデータを読み取る力を養います。
3学期 問題演習	全体的な習熟度の向上を目指します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型5教科
単位数	5単位	教科書	数学探究Ⅲ(今治東中等教育学校)				
副教材							

学習目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、指数関数と対数関数、微分法と積分法、数列、ベクトルの考え方について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。
学習の方法	演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の方	定期考査に加え、日頃の提出物などを総合的に判断して評価します。 また、平常の予習・授業・復習の取組についても評価の対象とします。数学に関する関心・意欲・態度や数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解のそれぞれの観点から、総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 I・A 第1章 方程式と不等式 第2章 2次関数 第3章 図形と計量 第4章 場合の数と確率 第5章 平面図形 第6章 集合と論理 II・B 第1章 式の計算と方程式	まずは、教科書の例題レベルの問題で、公式・定理の基本的な使い方を確認します。そして、教科書+αの問題で重要テーマの考え方・解法をマスターし、模試の問題や入試問題にチャレンジして実力を付けていきます。
2学期 第2章 図形と方程式 第3章 いろいろな関数 第4章 微分法と積分法 第5章 数列 第6章 ベクトル	まずは、教科書の例題レベルの問題で、公式・定理の基本的な使い方を確認します。そして、教科書+αの問題で重要テーマの考え方・解法をマスターし、模試の問題や入試問題にチャレンジして実力を付けていきます。 大学入学共通テストに向けて、過去の問題を利用しながら、マーク問題の学習をしていきます。
3学期 問題演習	進学試験に向けて、過去の入試問題を利用しながら学習していきます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅳ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅳ(今治東中等教育学校)				
副教材	四訂版 クリアー数学演習Ⅰ・A・Ⅱ・B 受験編（数研出版編集部・数研出版）						

学習目標	<p>今まで習ってきた高校数学の問題演習を通して、数学的な知識や技能の習熟度を高め、数学的な見方やものの考え方の良さを認識できるようにします。</p> <p>様々な問題を解くことで、考える力を養い、世の中の様々な事象を数学的に解決できる力を高めます。</p>
学習の方法	<p>予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことやわからなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を図りましょう。</p> <p>演習プリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試しましょう。</p>
評価の仕方	<p>中間考査と期末考査の成績、授業ノート、演習プリント、確認テスト、月ごとの課題などの提出物の内容、学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	
2学期	<p>第1章 数と式・論理</p> <p>第2章 関数と方程式</p> <p>第3章 データの分析</p> <p>第4章 場合の数と確率</p> <p>第5章 平面図形</p> <p>第6章 図形と方程式</p> <p>第7章 三角比・三角関数</p> <p>第8章 指数・対数関数</p> <p>第9章 微分法・積分法</p> <p>第10章 数列</p> <p>第11章 ベクトル</p> <p>各種計算問題、方程式・不等式に関する問題、各種の証明問題、データの分析の問題、順列や組合せの問題、確率、図形の性質に関する問題、図形と方程式に関する問題、軌跡・領域に関する問題、三角比や三角関数に関する問題、指数関数や対数関数に関する問題、導関数、関数の増減・極値に関する問題、最大・最小の問題、積分を利用した面積に関する問題、各種の数列の問題、数学的帰納法に関する問題、ベクトルの平面図形や空間図形に関する問題、空間座標や球面に関する問題、さらにそれらの応用問題を解きます。</p>
3学期	<p>問題演習</p> <p>問題演習を通してさらに問題を解く力を鍛えます。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	高等学校 新編 化学基礎(数研出版)				
副教材	新課程版 プログレス化学基礎（第一学習社）						

学習目標	<p>化学と人間生活との関わりについて学習し、総合的な見方や考え方を養成します。</p> <p>主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てます。</p> <p>物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化をマクロ的にとらえる見方や考え方を養います。</p>
学習方法	<p>毎時間にテーマを定め、それに基づき授業展開を行います。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見つけたり、身近な事柄に結び付けたりすることで理解が進みます。板書を写すだけでなく、自分で調べたことなどを付け加え、自分が使いやすいノートを作りましょう。さらに問題集を積極的に解いて、学習内容の定着を図ることが大切です。観察・実験は内容をよく把握し、安全に注意して行いましょう。</p>
評価の仕方	<p>定期考査の成績を基に、授業ノート、提出物、小テストへの取組、授業中の活動状況の要素を加味して総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 序章 化学の特徴 第Ⅰ編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	<p>私たちが生活しているこの世界は、様々な物質から成り立っています。ここでは、学問としての化学が、人類の発展にどのように寄与してきたかについて学習します。</p> <p>物質がその構成上からどのように分類されているかを学びます。また、成分の観点から元素について、粒子の熱運動の観点から物質の状態について理解します。その他にも元素の性質が電子配置によって決まり、電子配置の周期性が元素の性質に反映していることを理解します。原子は、電子配置によって結び付き方に規則性があることを理解します。それぞれの化学結合の性質について学習します。</p>
2 学期 第Ⅱ編 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	<p>物質の量を考え、化学変化を量的に考察する考え方を学びます。その中で使われてきた器具についても学習し、科学の発展に寄与した諸法則についても学習します。酸と塩基の基本的知識を復習し、酸・塩基の定義を理解します。さらに、水素イオンの授受による水素イオン濃度 pH の概念、中和反応について学びます。「実験」、「探究活動」を通じて、生徒が主体的に課題に取り組み、問題解決の方法を身に付けられるようにします。</p>
3 学期 第3節 酸化還元反応	<p>酸素や水素、電子の授受による酸化還元反応の例を学び、電子移動反応として統一的に理解します。</p> <p>金属元素のイオンと単体の反応を酸化還元反応の観点から考え、イオン化傾向の意味を学習します。代表的な電池の仕組みや電極反応を学習します。酸化還元反応を利用した金属の製造法について学習します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	物理基礎（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2023（高教研理科部会）						

学習目標	物理学と人間生活との関わりについて学習し、物理的な見方や考え方を養成します。主体的に観察、実験などに取り組み、科学の方法を学び、物理的に探究する能力と態度を育てます。物体の運動、様々な形のエネルギーを中心に学び、物理学における基本的な原理・法則を理解し、活用する力を養います。
学習方法	方程式や関数といった基本的な数学を用いて、物体の様々な運動について考えます。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見つけたり、公式の導出過程の理解したりすることです。板書を写すだけでなく、自分で調べたことや数式の展開過程などを後から見返せるよう、工夫したノート整理を心掛けましょう。さらに学習内容を定着させるためには、十分な問題演習が必要です。問題集の問題は何回も繰り返し解き直すことで効果が表れることに注意しましょう。
評価の仕方	定期考査、授業ノート・提出物、小テストへの取組方、授業中の活動状況を総合的に評価します。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー 第2部 熱 第1章 熱とエネルギー	主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学習します。鉛直に落下する物体や、斜め上方に投げ出された物体などの運動を記録、分析してそれらの表し方を学びます。 また、身の回りの物体には重力や摩擦力などの力がはたらいています。ここでは、いろいろな力の性質を学び、力がはたらいた場合の運動の様子を調べ、運動の法則について理解します。 仕事について理解を深め、摩擦がはたらかない場合の運動では力学的エネルギーが一定に保たれることについて学習します。熱や波、電気などの物理現象とエネルギーの関係を学ぶとともに、いろいろな種類のエネルギーとその利用について学びます。
2 学期	第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音 第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2章 交流と電磁波 以下は「物理」	水面の波や音の波、電波、光の波など、私たちの身の回りにはいろいろな波があふれています。ここでは、波とは何か、波はどのように伝わるのかなどを調べ、波の性質を学習します。 静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、更に発電機や電磁波などについて理解を深めます。
3 学期		

備考	2学期中間考査までの集中履修を設定しています。2学期中間考査以降は物理を集中履修します。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	物理基礎（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2023（高教研理科部会）						

学習目標	物理学と人間生活との関わりについて学習し、物理的な見方や考え方を養成します。主体的に観察、実験などに取り組み、科学の方法を学び、物理的に探究する能力と態度を育てます。物体の運動、様々な形のエネルギーを中心に学び、物理学における基本的な原理・法則を理解し、活用する力を養います。
学習方法	方程式や関数といった基本的な数学を用いて、物体の様々な運動について考えます。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見つけたり、公式の導出過程の理解したりすることです。板書を写すだけでなく、自分で調べたことや数式の展開過程などを後から見返せるよう、工夫したノート整理を心掛けましょう。さらに学習内容を定着させるためには、十分な問題演習が必要です。問題集の問題は何回も繰り返し解き直すことで効果が表れることに注意しましょう。
評価の仕方	定期考査、授業ノート・提出物、小テストへの取組方、授業中の活動状況を総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー 第2部 熱 第1章 熱とエネルギー	主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学習します。鉛直に落下する物体や、斜め上方に投げ出された物体などの運動を記録、分析してそれらの表し方を学びます。 また、身の回りの物体には重力や摩擦力などの力がはたらいています。ここでは、いろいろな力の性質を学び、力がはたらいた場合の運動の様子を調べ、運動の法則について理解します。 仕事について理解を深め、摩擦がはたらかない場合の運動では力学的エネルギーが一定に保たれることについて学習します。熱や波、電気などの物理現象とエネルギーの関係を学ぶとともに、いろいろな種類のエネルギーとその利用について学びます。
2学期 第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音 第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2章 交流と電磁波 以下は「物理」	水面の波や音の波、電波、光の波など、私たちの身の回りにはいろいろな波があふれています。ここでは、波とは何か、波はどのように伝わるのかなどを調べ、波の性質を学習します。 静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、更に発電機や電磁波などについて理解を深めます。
3学期	

備考	2学期中間考査までの集中履修を設定しています。2学期中間考査以降は物理を集中履修します。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	物理（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2023（高教研理科部会）、セミナー物理基礎+物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や、原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を系統立てて整理していきます。問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め支え、探究する態度も養います。 力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において必要な計算力を身に付けるため、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	定期考査、授業ノート・提出物、小テストへの取組方、授業中の活動状況を総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	
2学期	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動 第2章 剛体のつり合い 第3章 運動量と力積 第4章 円運動と単振動 第5章 万有引力 私たちが実際に目にする運動は、曲線を描くものが少なくありません。ここでは、平面内での物体の運動を中心に、大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について学習します。衝突や分裂といった短い時間で複雑に力のはたらく運動について成り立つ法則について学習します。一定の時間間隔で同じ動きを繰り返す運動が自然界には多く見られます。また、私たちの身の回りにはこのような運動の特徴を利用しているものが多くあります。ここでは周期的な運動の元となる力の性質や、運動の様子について学習します。ニュートンの発見した万有引力の法則を学び、天体だけではなく、人工衛星や探査機などの運動についても考えます。
3学期	第2部 熱 第1章 気体分子の運動 第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音 気体の温度・圧力・体積のようなマクロな量と、気体分子の速さのようなミクロな量の関係を考え、さらに熱機関の原理について考察します。気体の状態は、圧力・体積・温度で表されます。気体の状態の変化の代表的な4つの場合について、エネルギーの移動の状態を調べます。物理基礎の内容を更に掘り下げ、平面や空間を伝わる波についての性質を学びます。

備考	2学期中間考査以降の集中履修を設定しています。2学期中間考査以前は物理基礎を集中履修します。
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	化学（数研出版）				
副教材	ダイナミックワイド図説化学(東京書籍) 新課程版セミナー化学基礎+化学(第一学習社)						

学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。
学習の方法	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、観察、実験などを通して学習内容の理解を深め、探究する力も養っていきます。 また、結晶構造、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	定期考査の成績、提出物などを総合的に評価します。また、授業および実験への取組や態度、実験ノートの提出などについても評価の対象とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体	イオン結合、共有結合、金属結合からできている物質について学習します。また、塩化ナトリウム型結晶格子、体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造の結晶格子を学習します。 物質の融点、沸点を分子間力や化学結合と関連付けて学習します。また、エネルギーについては、融解熱、蒸発熱を学習し平衡については、気液平衡と蒸気圧を学習します。 ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式、分圧の法則や理想気体と実在気体の違いを学習します。
2 学期 第4章 溶液 第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解	溶解の仕組み、固体の溶解度や気体の溶解度を学習します。また、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイドを学習します。 エンタルピー変化と化学反応式、反応エンタルピーの種類、ヘスの法則、反応エンタルピーと結合エネルギーとの関係を学習します。また、化学反応と光も学習します。 ダニエル電池、鉛蓄電池、燃料電池などを学習します。また、電気分解における各電極の反応が酸化、還元反応であることや、ファラデーの法則について学習します。
3 学期 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡 第3編 無機物質 第1章 非金属元素	反応速度の定義や反応速度が条件によって変化することを学習します。また、触媒や活性化エネルギーについて学習します。 平衡定数やルシャトリエの原理について学習します。また、弱酸、弱塩基の電離定数、塩の加水分解、緩衝液などについて学習します。 1、18、17、16、15、14族の非金属元素の単体及びその化合物の性質や反応について、周期表と関連付けて学習します。

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	生物基礎実験ノート・問題集（高教研理科部会）、センサー生物基礎（啓林館）、リードライトノート生物基礎（数研出版）、スクエア最新図説生物（第一学習社）						

**学習目標**  
 生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活や遺伝情報の発現など、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。そして、生命の尊さを学びます。

**学習の方**  
 授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。  
 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目を見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのよう

**評価**  
 定期考査に加え、実験ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。  
 の 平常の取組についても評価の対象とします。生物に関する興味・関心・意欲、実験等に仕おける技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、という方だけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2 学期 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系（第1節、第2節）	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などに関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。
3 学期 第4章 生物の多様性と生態系（第3節、第4節）	生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。

**備考**

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	生物基礎実験ノート・問題集（高教研理科部会） 新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、センサー総合生物（啓林館）リードLightノート生物基礎（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目を見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価	定期考査に加え、実験ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 平常の取組についても評価の対象とします。生物に関する興味・関心・意欲、実験等に仕おける技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 (2学期中間考査以降は生物)	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などと関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。 生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。
(3学期は生物のみ)	
備考	

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（高教研理科部会） 新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、センサー総合生物（啓林館）、リードLightノート生物（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価方	定期考査に加え、実験ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。平常の取組についても評価の対象とします。生物に関する興味・関心・意欲、実験の等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、と仕いうだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	
2 学期	<p>ここまでは「生物基礎」（2学期中間考査以降）</p> <p>第1編 生物の進化 第1章 生物の進化</p> <p>地球の歴史と遺伝的な観点から生物がいかに進化してきたかを理解することにより、現在の地球を理解することに結び付けながら学習します。 現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。</p> <p>第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子 第3章 代謝</p> <p>細胞を構成する物質と、細胞の構造や機能との関係を学び、生物体内で起こっている生命活動について理解します。 代謝について、生物体内で起こっている化学反応について実験を通して理解します。</p>
3 学期	<p>第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生</p> <p>DNAの遺伝情報を元にタンパク質が合成される過程について系統立てて学びます。 バイオテクノロジーの現状と今後について学びます。</p>
備考	

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	2単位	教科書	地学基礎（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター新訂版（啓林館）、センサー地学基礎（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）、二訂版ニューステージ地学図表（浜島書店）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実働等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、方というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1部 固体地球とその変動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形やおおきさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。
2学期 第3部 移り変わる地球	太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその連動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。 第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。
3学期 第4部 自然との共生	また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習をふり振り返り、自然環境と人類の共生について考えます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	地学基礎（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター新訂版（啓林館）、センサー地学基礎（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）、二訂版ニューステージ地学図表（浜島書店）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実験等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、方というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1部 固体地球とその変動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形やおおきさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその連動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。
2 学期 第3部 移り変わる地球 第4部 自然との共生 以下は「地学」	第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習をふり返り、自然環境と人類の共生について考えます。
3 学期	

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	地学（啓林館）				
副教材	地学学習帳（高教研理科部会）、ニューステージ地学図表（浜島書店）						

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにします。観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養います。
学習の法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の方	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実験等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学期			
2 学期	ここまでは「地学基礎」 （2学期中間考査以降） 第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観 第2章 プレートテクトニクス 第3章 地球の活動		第1部では、大地そのものである固体地球を人類がどのように観察・観測し、現在のような理解・認識に至ったかを概観します。そして人類の自然認識の変遷を学ぶことで、科学的理解がどのように進むのかを学習し、現在の理解の枠組みであるプレートテクトニクスを通して、生きている地球の様々な活動を理解します。
3 学期	第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と歴史 第2章 地球・生命・環境の歴史 第3章 私たちの日本列島		第2部では、過去の岩石・地層中に残された様々な地球史の記録と、その解読方法について学習します。また、日本列島はユーラシア大陸東端の島国で、その地殻には過去のプレートの動きや大陸地殻の一般的な成長過程の記録が刻み込まれています。その日本列島の歴史についても学習します。
備考			

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	物理 改訂版（啓林館）				
副教材	セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）、ビーライン物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や、原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習方法	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め支え、探究する態度も養います。力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において必要な計算力を身に付けるため、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	定期考査の成績、授業ノート・提出物、小テストへの取組、授業中の活動状況などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第2部 波 第3章 光 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位	古くから人類の多くの活動に利用されてきた光について学びます。ここでは、光の進み方や光の波としての性質について、詳しく学習します。スリットによる光の干渉など具体的な現象を通して光の性質について考察を深めます。 雷などの身の回りの現象だけではなく、原子・分子レベルにおいても、電気の力は自然界の中で重要な役割を果たしています。ここでは静電気のはたらきについて定性的・定量的に検討を加え、静電気に関する理解を深めます。 コンデンサーの基本的な性質について学習します。
2学期 第2章 電流 第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波	現在の生活に欠かせない電流に関する技術の基礎について、電流のはたらきに注目して学習します。 磁気力と電流の関係について詳しく学習します。 変化する磁界や電流の作用により起こる電磁誘導について、定性的・定量的に検討を加え、私たちの生活の中で多く利用されている交流や電磁波について理解を深めます。
3学期 第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 第2章 原子・原子核・素粒子	原子の近い距離ではお互いに引き合い、近づき過ぎると互いに反発するという一見矛盾するような現象について、光電効果や光量子仮説など近代の物理学の基礎的な分野を学習します。 X線をはじめα線・β線・γ線などの放射線の性質や線量の測定方法などを学びます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	改訂版 化学（数研出版）				
副教材	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）チェック&演習化学(数研出版) ダイナミックワイド図説化学（東京書籍）						

学習目標	「化学基礎」の学習を踏まえて、化学的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、事件などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。 また、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	定期考査の成績、提出物などを総合的に評価します。また、授業および実験への取組、実験ノートの提出などについても評価の対象とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と性格 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	炭素骨格、官能基による有機化合物の分類や有機化合物の元素分析について学習します。アルカン、アルキン、アルケンなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、構造異性体や幾何異性体も学習します。アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、光学異性体の生態も学習します。さらに、日常生活や社会と関連付けて、油脂やセッケンも学習します。
2学期 第4章 芳香族化合物 第5編 天然有機化合物 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物 第6編 合成高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンの構造、性質、反応などを学習します。また、これらの化合物は、ベンゼン環及び官能基により性質が特徴付けられることを学習します。天然有機化合物である糖類やタンパク質等について学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。合成高分子化合物である合成繊維やゴムについて学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。さらに第5編、第6編では日常生活との結びつきについても学習します。
3学期 総合的演習	2年間行ってきた化学の復習と応用を学習します。

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	改訂版 生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（高教研理科部会）、フォトサイエンス生物図録（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として生物実験ノート・問題集を効果的に活用していきます。生物実験ノート・問題集にある実験を中心に、実際に手で触れ、目を見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また、問題集で内容をまとめます。
評価	定期考査に加え、実験ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。平常の取組についても評価の対象とします。生物に関する興味・関心・意欲、実験等に仕における技能そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 第3編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	生物がその命を次代に伝え、受精卵が生態になる仕組みについて学びます。 また遺伝学についても学習します。 動物の反応と行動として、感覚器官や神経系や筋肉の働く仕組みを学ぶとともに、動物個体の行動について理解します。 植物の反応として、植物ホルモンの働きや光への応答に関わる光受容体について学びます。
2 学期 第4編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 第5編 生物の進化と系統 第8章 生命の起源と進化 第9章 生物の系統	生物がいかに進化してきたかを理解することにより、現在の地球を理解することに結び付けながら学習します。 多様な生物が多様な集団として、自然界の中でどのようにして存続してきたかを理解することにより、生物の一員である私たち人間の将来について考えます。 現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。
3 学期 総合演習	これまで学んできたことの総まとめを行います。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型5教科
単位数	2単位	教科書	生物実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）				
副教材	セミナー生物基礎（第一学習社）						

学習目標	<p>生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。</p>
学習方法	<p>授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項について問題集を活用しながら、系統立てて整理していきます。また、その確認としても問題集を効果的に活用していきます。</p> <p>実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的現象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また問題集で内容をまとめます。</p>
評価	<p>定期考査に加え、実験ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。</p> <p>平常の取組についても評価の対象とします。生物に関する興味・関心・意欲、実験等ににおける技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	<p>生物の系統や分類について「生物の多様性」を確認するとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。</p> <p>DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。</p>
2学期 第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布	<p>体液が営む恒常性について深く学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。</p> <p>植物の様々な植生をもとに、気候との関係などと関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。</p>
3学期 第5章 生態系とその保全	<p>生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	地学基礎（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター改訂版（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）						

学習目標	地球や宇宙に関する基礎的な内容について学習し、広大で幅広い地球規模の空間・時間スケールで、物事を考える力を養っていきます。また、環境問題や資源問題など、人類の存続に関わる大きな問題が地球規模で起きています。これまで地球や人類がたどってきた道筋を知り、現状を正確に把握することで、これからの未来を生きていく方法を考えます。
学習方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実体験等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、方というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1部 固体地球とその変動 第2部 移り変わる地球	第1部では、地球の形・構造など地球そのものについて学習します。さらに地震や火山活動などの地殻変動をプレートテクトニクスから考えます。 第2部では、地層の形成と堆積岩について学び、地球表面での物質の動きについて考えます。また、地球誕生時からの生物や環境の変遷について学習します。
2 学期 第3部 大気と海洋 第4部 宇宙の構成	第3部では、海や大気で起こる事象や、地球におけるエネルギー収支について学習します。これらの学習内容をもとに、日本の天気について学びます。 第4部では、地球を取り巻く広い宇宙空間での事象や歴史について学習します。太陽系に属する天体について、恒星の進化について、宇宙の構造やその誕生について学びます。
3 学期 第5部 自然との共生	第5部では、地球環境と人間との関わりについて学習します。その中で様々な自然災害と防災にも触れ、私たち人間は自然とどのように共存していくべきか考えます。

備考	特記事項なし。
----	---------

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型
単位数	2単位	教科書	地学学習帳（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）				
副教材	リードα地学基礎（数研出版）、ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版）						

学習目標	地球や宇宙に関する基礎的な内容について再度学習し、広大で幅広い地球規模の空間・時間スケールで起こる事象についての理解を深めます。科学的思考力と知識を定着させるとともに、身の回りの諸現象に対する主体的な認識および判断力を身に付けます。
学習方法	地学基礎で学習した内容を更に深めていきます。学習内容は単に暗記していただくのではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図説に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実験等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 1 固体地球とその変動	地球の大きさや形について、重力・地磁気・内部構造といった内容まで掘り下げて学習します。 火成岩のできるメカニズムや、主要な火成岩について確認し、主な造岩性質や結晶構造について学習します。 また、温度変化による結晶分化作用から多様な鉱物が生成されることを学びます。
2 学期 2 移り変わる地球 3 大気と海洋 4 宇宙の構成	風化や浸食などによる地表変化について、理解を深めます。 大気層の構成及び熱収支について確認し、大気の流れについて学びます。更に、海水の構造を確認し、波・潮汐の構造を学び、理解を深めます。 太陽系について確認し、惑星の運動まで内容を深めます。
3 学期 総合演習	これまでの学習内容の総まとめを行います。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	地学（啓林館）				
副教材	地学学習帳（高教研理科部会）、ニューステージ地学図表（浜島書店）						

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにします。観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養います。
学習の法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の方	定期考査に加え、授業ノートやプリント等の提出物、課題テストなどを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。地学に関する興味・関心・意欲、実験等における技能、そして授業で学んだことが、活用できる知識として定着しているか、というだけでなく、科学的思考力や様々な事象に対する思考力などを総合的に評価します。

学習計画及び内容	
	主な学習内容
1 学期	<p>第3部 大気と海洋</p> <p>第1章 大気の構造</p> <p>第2章 大気の運動</p> <p>第3章 海洋と海水の運動</p> <p>第4章 気候変動と地球環境</p>
2 学期	<p>第4部 宇宙の構造</p> <p>第1章 太陽系の天体</p> <p>第2章 恒星の性質と進化</p> <p>第3章 銀河系と宇宙</p>
3 学期	<p>総合演習</p> <p>これまで学んできたことの総まとめを行います。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにします。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。</p> <p>体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。</p> <p>体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。</p> <p>どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 体づくり運動 水泳 体育理論	集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト 男子 平泳ぎ 女子 平泳ぎ スポーツの発祥と成立 スポーツ文化の発展と現代社会
2学期 体づくり運動 球技 体育理論	運動会練習 集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 男子 サッカー 女子 バレー オリンピック・パラリンピックと国際社会 スポーツの経済効果とスポーツ産業
3学期 陸上競技 球技 ダンス 武道 体育理論	長距離走 記録会 男子 サッカー 女子 バレー 現代的なリズムのダンス 柔道 スポーツに求められる高潔さ 持続可能性からみたスポーツと環境

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	保健	学年	第4学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	わが国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにします。
学習の方法	教科書、学習ノートを中心に各単元を学習していきます。 グループでの課題学習やプレゼンテーションを行います。
評価の仕方	学習の状況は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度・取組、定期考査、提出物（レポートやノート）により評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	<p>2 安全な社会生活</p> <p>(1) 事故の現状と発生要因 (2) 交通事故防止の取り組み (3) 安全な社会の形成 (4) 応急手当の意義と救急医療体制 (5) 心肺蘇生法 (6) 日常的な応急手当</p> <p>1 現代社会と健康</p> <p>(1) 日本における健康課題の変遷</p>
2 学期	<p>(2) 健康の考え方と成り立ち (3) ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり (4) 健康に関する意思決定・行動選択 (5) 現代における感染症の問題 (6) 感染症の予防 (7) 性感染症・エイズの予防 (8) 生活習慣病の予防と回復 (9) 身体活動・運動と健康 (10) 食事と健康</p>
3 学期	<p>(11) 休養・睡眠と健康 (12) がんの予防と回復 (13) 喫煙と健康 (14) 飲酒と健康 (15) 薬物乱用と健康 (16) 精神疾患の特徴 (17) 精神疾患への対応</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにします。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。</p> <p>体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。</p> <p>体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。</p> <p>どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 体づくり運動 球技 水泳 体育理論	<p>集団走、隊形移動、体操</p> <p>各種の体力を高める運動</p> <p>新体力テスト</p> <p>サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。</p> <p>男子クイックターン、女子クロール</p> <p>スポーツにおける技術と戦術・戦略</p> <p>スポーツにおける技能と体力</p>
2 学期 体づくり運動 球技 体育理論	<p>運動会練習</p> <p>サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。</p> <p>技能上達課程と練習の考え方</p> <p>効果的な動きのメカニズム</p>
3 学期 陸上競技 球技 体づくり運動 体育理論	<p>長距離走 記録会</p> <p>サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。</p> <p>体ほぐしの運動 体力を高める運動</p> <p>体力トレーニング</p> <p>運動やスポーツでの危険予知と安全確保</p>

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	2単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにします。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。</p> <p>体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。</p> <p>体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。</p> <p>どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	球技		バスケットボール ソフトテニス サッカー 卓球 バドミントン
	体育理論		テーマ別課題学習、発表
2 学 期	球技		ハンドボール バレーボール 野球
	体づくり運動 球技		体力を高める運動 ソフトボール ラグビー
	体育理論		テーマ別課題学習、発表
3 学 期	体づくり運動		体ほぐしの運動 キックベースボール
	球技 ダンス 体育理論		ダンス テーマ別課題学習、発表

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	保健	学年	第5学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	<p>生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要が あること及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることにつ いて理解できるようにします。</p> <p>社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深く関わっていること から、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関わる活動や対策が重要であること について理解できるようにします。</p>
学習の方法	<p>教科書、学習ノートを中心に各単元を学習していきます。</p> <p>グループでの課題学習やプレゼンテーションを行います。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解の3つの観点で評価します。</p> <p>具体的には、主に出席、授業態度・取組、定期考査、提出物（レポートやノート）により評 価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
<p>1 学期</p> <p>3 生涯を通じる健康</p> <p>(1) 思春期と健康 (2) 性意識の変化と性行動の選択 (3) 結婚生活と健康 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 家族計画 (6) 加齢と健康 (7) 高齢社会に対応した取組</p>	<p>思春期には、生殖器が発達し、不安や悩みが多い。</p> <p>性意識には男女で差がある。不正確な情報にまどわされない。</p> <p>心身の発達が結婚生活の基礎となる。</p> <p>母体の健康を維持し、母子保健サービスを活用しよう。</p> <p>安全で確実な避妊法を選ぶ必要がある。</p> <p>中高年期を健やかに過ごすために大切なこと。</p> <p>介護保険制度や保健・医療・福祉の連携について。</p>
<p>2 学期</p> <p>(8) 働くことと健康 (9) 労働災害の防止 (10) 働く人の健康づくり</p> <p>4 健康を支える環境づくり</p> <p>(1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁・土壌汚染と健康 (3) 健康被害を防ぐための環境対策 (4) 環境衛生に関わる活動 (5) 食品の安全性と健康</p>	<p>働き方とともに、健康問題も変わってきた。</p> <p>日本における労働災害の推移について</p> <p>働く人の健康を保持増進する為に大切なこと。</p> <p>大気汚染は、健康に様々な影響を及ぼしている。</p> <p>水質汚濁や土壌汚染は健康に様々な影響を及ぼしている</p> <p>環境汚染の状況は変化し、それを防ぐ様々な取組がある。</p> <p>ごみを適切に処理するために大切なこと。</p> <p>食品の安全は、私たちの健康を左右する。</p>
<p>3 学期</p> <p>(6) 食品の安全性を確保する取組 (7) 保健制度とその活用 (8) 医療制度とその活用 (9) 医薬品の制度とその活用 (10) 様々な保健活動や対策 (11) 誰もが健康に過ごせる社会に 向けた環境作り</p>	<p>食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割</p> <p>保健行政は健康づくりを支援する。</p> <p>誰もがが必要な医療を受けられる。</p> <p>正しい使い方が医薬品の効果を高める。</p> <p>多くの活動が、私たちの健康を支えている。</p> <p>ヘルスプロモーションにもとづく活動。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（305）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにします。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。</p> <p>体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。</p> <p>体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底との規律正しい行動や態度を育成します。</p> <p>どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能、知識・理解の4つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	体づくり運動		集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト
	球技		サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。
	水泳		男子バタフライ、女子背泳ぎ
	体育理論		生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルとスポーツの楽しみ方
2 学 期	体づくり運動		運動会練習
	球技		サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。
	体育理論		スポーツ推進のための施策と課題 スポーツで「未来」を創る
3 学 期	球技		サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。
	体育理論		まとめ

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（305）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができますようにします。</p> <p>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。</p> <p>体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。</p> <p>体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。</p> <p>どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能、知識・理解の4つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 球技 体づくり運動	サッカー ハンドボール 体ほぐしの運動 陸上競技 ソフトボール
2学期 球技 体づくり運動	卓球 武道 陸上競技 ソフトテニス 長距離走 体ほぐしの運動
3学期 球技 体づくり運動	体力を高める運動 サッカー ソフトボール ソフトテニス

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（305）（大修館書店）						

学習目標	<p>各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができますようにします。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができるようにします。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けます。</p>
学習方法	<p>授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開していきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、基礎練習、応用練習、試合を通して運動技能の習熟や体力の向上を図ります。</p>
評価の仕方	<p>学習の状況は、関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能、知識・理解の4つの観点で評価します。具体的には、主に出席、授業態度、実技テスト、記録、自己評価により評価します。</p>

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	球技 体づくり運動		ドッジボール キンボール インディアカ ハンドボール 体ほぐしの運動 バレーボール フォークダンス 長縄跳び ラグビー キックベースボール テーマ別課題学習、発表
	体育理論		
2 学 期	球技 体づくり運動		アルティメット ハンドボール 体ほぐしの運動 ソフトボール フットサル ドッジボール フラーバールバレー 卓球 バドミントン ダンス ターゲットバードゴルフ エアロビクス 野球 テーマ別課題学習、発表
	体育理論		
3 学 期	体づくり運動		体力を高める運動
	体育理論		テーマ別課題学習、発表

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	高校生の音楽1（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。</p> <p>創造的な活動である創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。</p>
学習の方法	<p>歌唱や器楽の活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。</p> <p>創作の活動では、音素材の特徴を生かし、イメージを持って音楽を創ります。</p> <p>鑑賞では、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取り、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞します。</p>
評価の仕方	<p>以下のような視点で総合的に評価します。</p> <p>楽譜を理解し、活用できる力、実技試験（知識・技能）</p> <p>演奏の技術や表現の工夫、音楽史や比較を加えた鑑賞能力（思考・判断・表現）</p> <p>学習状況（主体的に学習に取り組む態度）</p>

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学期	1	楽譜とリズム	リズム活動を中心に、楽譜とリズムの関係を学習します。
	2	様々な舞台芸術	演劇、オペラ、ミュージカル、バレエを通じて、総合芸術としての楽しみ方を学習します。 日本の舞台芸術として、能、歌舞伎を西洋の舞台芸術と比較しながら鑑賞します。
2 学期	3	声の世界（世界の歌）	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌います。
	4	楽譜と音高	キーボードを使って、楽譜と音高の関係を学習します。
	5	作曲家の人生と作品	モーツァルトの生涯と作品について、時代背景や音楽の様式など理解しながら、より深く鑑賞します。
3 学期	6	音楽の仕組み ・和音とコードネーム ・簡単なメロディ作り	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して音楽を創ります。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術 I	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	美術 I（光村図書出版）				
副教材							

学習目標	<p>中学校美術の内容を発展させ、多様な表現方法や技術を身に付けます。色の世界から始まり、基礎的な技術、自分の考えをかたちに表す力を養います。</p> <p>また、著名な作品や他者の作品を鑑賞することで表現力・知識を豊かにします。</p>
学習の方法	<p>制作することで技術を学び、必要に応じて道具・材料の知識を制作過程から学びます。自分が体験することで疑問に思うこと、詳しく知りたいことを見つけ、主体的に学びます。</p> <p>授業内で配布するプリントや板書を中心に行う小テストで、学んだことを整理し活用します。</p>
評価の仕方	<p>小テスト、作品の出来も評価の対象としますが、作品への取組、授業への意欲・態度を中心に評価します。</p> <p>また、美術への興味・関心の程度、知識の応用力も含み、総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 鉛筆デッサン マイスプーンづくり	<p>鉛筆による細密描写を行います。対象を観察し、よく考えて、同じモチーフを繰り返し描くことで理解を深めます。</p> <p>また、技法や画材の知識を得ることで学びの幅を広げます。</p> <p>製品には、作られた目的があり、その目的を達成するための機能や工夫があることを理解します。構想を練ったり、制作したりすることを通してデザインの意味や価値を理解します。</p>
2学期 オリジナルの生き物を考えよう 見て、感じて、考えて	<p>テーマをもとに主題を生み出し、説得力のある設定を発想します。</p> <p>作品をじっくりと鑑賞し、自分なりの見方を持つとともに、仲間とともに考えを深め、新たな解釈を生み出します。多様な見方や考え方があることを理解します。</p>
3学期 自画像	<p>自分自身と向き合い、これからいかに生きていくか作品制作を通して考えていきます。単に自身の顔を描くだけではなく、そこに思いや感情を表すためにどうすればよいか考え、材料や表現方法を創意工夫します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道 I	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	書道 I（教育出版）				
副教材							

学習目標	<p>表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。</p> <p>漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の伝統と文化についての理解を深めます。</p> <p>様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に自己を表現する能力を高めます。</p>
学習の方法	<p>教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」、「仮名の書」、「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。</p> <p>また、自分たちの作品を相互評価することで、鑑賞力を身に付けていきます。</p>
評価の仕方	<p>作品点、平常の取組（提出物、忘れ物、授業態度、意欲、用具・用材の扱い）、テストなどを総合的に評価します。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 書道の学習を始めよう 漢字の書の学習 楷書の学習	<p>中学校までの書写の学習を振り返り、書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知ります。</p> <p>全体構成の工夫について学びます。</p> <p>楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。</p>
2 学期 行書の学習 仮名の書の学習	<p>行書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。</p> <p>仮名の成立と変遷、種類について学んだ上で、基本用筆を習得します。また、平安期の仮名独特の流動美や紙面構成を学び、表現を深めていきます。</p>
3 学期 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習	<p>用具・用材や形式、構成などの表現法を工夫し、作品を制作します。また、様々な仮名の古典を鑑賞し、話し合い、仮名の良さを味わい、鑑賞力を高めていきます。</p> <p>自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。</p>

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型
単位数	1単位	教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	<p>音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。</p> <p>個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。</p>
学習の方法	<p>表現活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、それらの働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。</p> <p>西洋音楽史の観点から、楽曲の文化的・歴史的背景を学び、より深い鑑賞能力を養います。</p>
評価の仕方	<p>以下のような視点で総合的に評価します。</p> <p>筆記試験・実技試験（知識・技能）</p> <p>音楽史の観点による比較を加えた鑑賞能力（思考・判断・表現）</p> <p>学習状況・レポート発表（主体的に学習に取り組む態度）</p>

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	1	舞台芸術の世界	ミュージカル・バレエ・オペラについて、その特徴や表現方法の違いについて理解を深めます。
	2	西洋音楽史①	中世・ルネサンス・バロック時代の音楽について学び、西洋音楽が育まれてきた歴史・文化的背景について理解を深めます。
2 学 期	3	器楽アンサンブル	器楽アンサンブルに取り組み、仲間と協力しながら音楽を創り上げる楽しさを味わいます。
	4	西洋音楽史②	古典派・ロマン派の音楽について、音楽が時代に合わせてどのように変わりどう発展したか、理解を深めます。
3 学 期	5	西洋音楽史③	近代・現代の音楽について、その特徴を理解し、様々な場面での音楽の活用方法を考えます。
	6	個人研究・発表	音楽の魅力を各自が言葉で表現し、発表できる力をつけます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	<p>音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。</p> <p>個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。</p>
学習の方法	<p>歌唱や器楽の活動を通して、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して、曲にふさわしい表現を工夫していきます。</p> <p>ピアノ、ギターの基本奏法を中心に、読譜力、ソルフェージュ能力を高め、創作活動に発展させます。</p>
評価の仕方	<p>以下のような視点で総合的に評価します。</p> <p>楽譜を理解し活用できる力、実技試験（知識・技能）</p> <p>演奏の技術や表現の工夫、音楽史や比較を加えた鑑賞能力（思考・判断・表現）</p> <p>学習状況、作品発表（主体的に学習に取り組む態度）</p>

学習計画及び内容							
	<table border="1"> <tr> <th>単元</th> <th>主な学習内容</th> </tr> </table>	単元	主な学習内容				
単元	主な学習内容						
1 学期	<table border="1"> <tr> <td>1 個別実技研究 ギター・ピアノ</td> <td> <p>個別に歌唱、ピアノ・キーボード・ギターなどの楽器を選択し、それぞれに適した奏法や楽譜の基本について学び、読譜力を身に付けます。また、音楽の諸要素についても理解を深め、主体性・積極性を養います。</p> <p>学期末には学期で取り組んだことを復習し、まとめます。</p> </td> </tr> <tr> <td>2 実技研究 創作</td> <td> <p>音楽の仕組みを理解し、楽曲の創作を目指します。</p> <p>学期末に創作活動の成果を発表します。</p> </td> </tr> <tr> <td>3 音楽表現研究</td> <td> <p>1・2学期で学んだことをもとに、独奏や声楽アンサンブル活動の特色を生かし、豊かな響きのある音楽を創り上げる喜びを味わいます。</p> <p>聴衆に伝えるためにふさわしい演奏表現について詳しく学びます。</p> </td> </tr> </table>	1 個別実技研究 ギター・ピアノ	<p>個別に歌唱、ピアノ・キーボード・ギターなどの楽器を選択し、それぞれに適した奏法や楽譜の基本について学び、読譜力を身に付けます。また、音楽の諸要素についても理解を深め、主体性・積極性を養います。</p> <p>学期末には学期で取り組んだことを復習し、まとめます。</p>	2 実技研究 創作	<p>音楽の仕組みを理解し、楽曲の創作を目指します。</p> <p>学期末に創作活動の成果を発表します。</p>	3 音楽表現研究	<p>1・2学期で学んだことをもとに、独奏や声楽アンサンブル活動の特色を生かし、豊かな響きのある音楽を創り上げる喜びを味わいます。</p> <p>聴衆に伝えるためにふさわしい演奏表現について詳しく学びます。</p>
1 個別実技研究 ギター・ピアノ	<p>個別に歌唱、ピアノ・キーボード・ギターなどの楽器を選択し、それぞれに適した奏法や楽譜の基本について学び、読譜力を身に付けます。また、音楽の諸要素についても理解を深め、主体性・積極性を養います。</p> <p>学期末には学期で取り組んだことを復習し、まとめます。</p>						
2 実技研究 創作	<p>音楽の仕組みを理解し、楽曲の創作を目指します。</p> <p>学期末に創作活動の成果を発表します。</p>						
3 音楽表現研究	<p>1・2学期で学んだことをもとに、独奏や声楽アンサンブル活動の特色を生かし、豊かな響きのある音楽を創り上げる喜びを味わいます。</p> <p>聴衆に伝えるためにふさわしい演奏表現について詳しく学びます。</p>						

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型
単位数	1単位	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	<p>美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を得ることです。</p> <p>また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。</p> <p>限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。</p>
評価の仕方	<p>作品の取組に重きをおいて提出物、定期考査などを総合的に評価します。</p> <p>また、作品の取組には、自分の作品への意欲・態度、積極的な授業への参加も含みます。技術的な部分だけでなく、美術を楽しむ姿勢も合わせて判断します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 表現の手法 メッセージを伝えるには	<p>人物スケッチを行い、人体への理解や鉛筆での表現の基礎を学びます。基礎の後には、短時間で観察し大まかな形や流れを読み取る力を身につける学習をします。</p> <p>作品を見た人に自分の表現したいこと伝えるにはどうすればよいか、どのような見せ方をすればよいか、デザインを通して考えます。</p>
2学期 制作にあたって 表現の手法	<p>1学期の内容を生かし、自由制作をします。自分で課題を発見し、それを表現するために必要な要素を考えます。</p> <p>自主制作の表現に必要な要素を実行し、自分の定めた課題に向けて完成度を高めた作品を完成させること目指します。</p>
3学期 動く動画	<p>ゾートロープと呼ばれる作品を作ることで、動画やアニメの制作を学習します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	<p>美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を身に付けます。</p> <p>また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。</p> <p>限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。</p>
評価の仕方	<p>作品の出来具合は評価の対象となりますが、作品への取組、授業への意欲・態度、提出物を中心に評価します。</p> <p>また、美術への興味・関心の程度、知識の応用力も含み、総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 使う人のためのデザイン（かかし） ポスターを考える	<p>使う人や用途、場面、気持ちに合わせて、使い勝手をよくしたり、使ってみたいと思わせたりするために、どのような工夫が必要かを考えて、かかしを制作します。</p> <p>伝えたい内容、伝える相手、与えられた条件などを基に、図柄やコピー（文字）などを考え、印象に残るポスター制作を目指し、アイデアを練っていきます。夏期休業中課題としてポスター制作をします。</p>
2学期 使う人のためのデザイン（かかし） 続き PCによるチラシデザイン（かかし） 表現の手法（鉛筆デッサン）	<p>制作したかかしの写真をパソコンに取り込み、編集やレイアウトを工夫して、内容が的確に伝わるチラシを作ります。</p> <p>鉛筆による細密描写を行います。静物デッサンにより対象を観察し見ることの大切さを学習します。</p>
3学期 日本の美術（凧）	<p>日本美術に受け継がれてきた題材、構図、線の効果、色彩の効果を学習し、デザインに取り入れます。素材や材料について考えながら、用具を適切に用いて、見通しを持って、安全に制作します。</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型
単位数	1単位	教科書	新編 書道Ⅱ（教育出版）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 古典の持つ特徴や技術を理解し、創造的に表現する力を身に付けるとともに、鑑賞研究や指導を充実させることで書の伝統と文化への理解を深めます。
学習の方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」、「仮名の書」、「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。また、自分たちの作品を相互評価することで、感じ取った印象を言葉で表現し他者に伝え合う言語活動の充実を図るとともに、その美をもたらし根拠や価値を考えていき、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	作品点、平常の取組（提出物、忘れ物、授業態度、意欲、用具・用材の扱い）、テストなどを総合的に評価します。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 漢字の書の学習 篆書の学習 隸書の学習	篆書・隸書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。代表的な古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに臨書活動を通して各個展の特徴を把握し効果的な表現を身に着け、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて学びます。
2 学期 草書の学習 篆刻の学習 行書の学習 仮名の書の学習	1学期に引き続き、草書・行書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。 篆書との関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化ならびに生活や社会との関わりについて理解を深めます。
3 学期 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 書の変遷	古筆を鑑賞し、書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫して表現することを学びます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。 中国と日本の書の歴史とその周辺の文化について学びます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	新編 書道Ⅱ（教育出版）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 古典の持つ特徴や技術を理解し、創造的に表現する力を身に付けるとともに、鑑賞研究や指導を充実させることで書の伝統と文化への理解を深めます。
学習の方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」、「仮名の書」、「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。また、自分たちの作品を相互評価することで、感じ取った印象を言葉で表現し他者に伝え合う言語活動の充実を図るとともに、その美をもたらし根拠や価値を考えていき、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	作品点、平常の取組（提出物、忘れ物、授業態度、意欲、用具・用材の扱い）、テストなどを総合的に評価します。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 漢字の書の学習 篆書の学習 隸書の学習	篆書・隸書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。代表的な古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに臨書活動を通して各個展の特徴を把握し効果的な表現を身に着け、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて学びます。
2 学期 草書の学習 篆刻・刻字の学習 行書の学習 仮名の書の学習	1学期に引き続き、草書・行書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。 篆書との関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化ならびに生活や社会との関わりについて理解を深めます。
3 学期 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 書の変遷	古筆を鑑賞し、書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫して表現することを学びます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。 中国と日本の書の歴史とその周辺の文化について学びます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の美術3（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰを基礎、美術Ⅱを応用として、その二つを踏まえた上で専門分野の知識を深めていきます。
学習の方法	週2時間の活動の中で、時間配分や制作計画などを自分で決めて活動します。興味をわいた分野の制作を各々が選択し、制作の計画を立て、計画通りに制作した作品を卒業研究として、東校展へ展示します。じっくり時間をかけて大作を完成させていきます。
評価の仕方	作品だけでなく、作品への取組、計画性、より良い作品作りをしようと努力しているかなどの点を総合的に判断して評価します。 最終的に卒業研究を完成させ、東校展へ展示することを、評価をするための第一条件とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 立体表現（だるま） 画材研究	日本の伝統文化である張り子にふれ、だるまをすることで美術文化に対する見方や感じ方を深めます。また、最終的に、だるまに目入れをすることで合格祈願を行います。 卒業研究に向け、自分の興味のある分野について、調べ学習を通じて深めていきます。様々な技法・画材を試し、自分の主題に適したものを模索していきます。
2学期 卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。
3学期 卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。 家庭学習期間を有効に使い大作を完成させます。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	学年	4年	類型	共通
単位数	3	教科書	Power On English Communication I（東京書籍）				
副教材	フェイスバリット英単語・熟語 <テーマ別>コーパス 3000						

学習目標	<p>1. 必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。</p> <p>2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができるようにします。</p> <p>3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにします。</p>
学習方法	<p>国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的実施します。</p>
評価の仕方	<p>定期考査を中心に評価を行い、単元ごとに到達度テストを実施するほか、課題やノート提出、単語テスト、発表等の意欲・態度においても評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
<p>1 学期</p> <p>Pre-lesson Lesson 1 Japan's New Tourism Lesson 2 Light from Creatures Lesson 3 Routes to the Top Lesson 4 Left to Right, Right?</p>	<p>文の構造、自動詞と他動詞 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形 受け身、現在完了形、現在完了進行形 動名詞、不定詞、S+V+O [that 節] 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級</p>
<p>2 学期</p> <p>Summer Reading Mama's Bank Account Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior Lesson 7 No Plastic or No Future Lesson 8 Oh My Cod!</p>	<p>説明する、理由を述べる、共感する表現 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to 不定詞 It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V [be 動詞以外+C]、S+V+O+C [形容詞] 関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形</p>
<p>3 学期</p> <p>Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? Lesson 10 Being Different Is Beautiful Optional Reading THANK YOU, ICHIRO</p>	<p>S+V [知覚]+O+ [現在分詞、原形不定詞]、S+V [使役]+O+C [原形不定詞]、S+V+O<sub>1</sub>+O<sub>2</sub> [if などの節] wish+仮定法過去の節、仮定法過去の as if 節、仮定法過去の if 節 説明する、理由を述べる、共感する表現</p>

備考	
----	--



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年	4年	類型	共通
単位数	3	教科書	Vision Quest English Logic and Expression I Standard(啓林館)				
副教材	Vision Quest総合英語						

学習目標	<p>1 基本的な語句や文を用いて、情報や考え・気持ちなどを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにします。</p> <p>2 ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。</p> <p>3 スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。</p>
学習方法	<p>国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的実施します。</p>
評価の仕方	<p>定期考査を中心に評価を行い、単元ごとに到達度テストを実施するほか、課題やノート提出、単語テスト、発表等の意欲・態度においても評価します。</p>

学習計画及び内容		
単元		主な学習内容
1 学期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. Lesson 2 Do you want to join our show? Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson 4 Have you ever tried it before? Lesson 5 What do you want to do after high school?	文の種類 文型と動詞 時制 完了形 助動詞
2 学期	Lesson 6 Did you hear about the new shop? Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way. Lesson 10 That's why I decided to go back.	受動態 不定詞 動名詞 分詞 関係詞
3 学期	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? Lesson 12 I think it's a good idea.	比較 仮定法
備考		

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	第5学年	類型	共通
単位数	3	教科書	Power On English Communication II（東京書籍）				
副教材	Word Navi 英単語・熟語 3000						

学習目標	<p>1. 必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。</p> <p>2. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができるようにします。</p> <p>3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようになります。</p>
学習方法	<p>国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的実施します。</p>
評価の仕方	<p>定期考査を中心に評価を行い、単元ごとに到達度テストを実施するほか、課題やノート提出、単語テスト、発表等の意欲・態度においても評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	<p>Lesson 1 Play Me, I'm Yours Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All, All for One Lesson 4 Vending Machines</p> <p>助動詞＋動詞の原形、受け身、S+V[be 動詞以外]+C S+V+O+C[形容詞]、S+V[使役、知覚]+O+C[原形不定詞、分詞] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去 if 節 関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）</p>
2 学期	<p>Summer Reading Going Home Lesson 5 Design for Connecting Lesson 6 New Banknotes Lesson 7 Some Secrets about Colors Lesson 8 Powered Natto Solves a Global Water Problems</p> <p>助動詞＋受け身、S+V+C[分詞]、S+V+O[if 節] It + seems[appears] + that 節、It + is[was] + said + that 節 形式目的語 it と that 節、形式目的語 it と to 不定詞 助動詞＋have＋過去分詞、関係代名詞（所有格） 同格を表す接続詞 that、前置詞＋関係代名詞 関係副詞 where の非制限用法、強調構文、強調の助動詞 do 直前の文を先行詞とする関係代名詞、to + have + 過去分詞</p>
3 学期	<p>Lesson 9 Flying after Her Dreams Lesson 10 To Work or Not to Work? Optional Reading I am Yusura. I'm a refugee and I'm proud to stand for peace.</p> <p>譲歩を表す副詞節、no matter how[where, when] 仮定法過去完了、分詞構文（過去分詞）、過去完了進行形 be + to 不定詞、未来完了形、insist など + that + S + V（動詞の原形）</p>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	EARTHRISE English Logic and Communication Ⅱ（数研出版）				
副教材	FACTBOOK English Grammar Standard（桐原書店）						

学習目標	1. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度を養います。 2. コミュニケーション活動の場面に応じた表現を習得します。 3. Part 1は学んだ文法事項を使って、Part 2は伝えたい情報を論理的に伝えるために「聞く」・「書く」・「話す」練習をします。
学習の方法	必ず予習をして授業に臨むようにします。 授業では、音読、ペアワーク、グループワーク、発表などの活動を行います。声をしっかり出して、積極的に参加するようにします。 学習内容の定着を図るために、定期考査、校内模試、小テストなどを行います。
評価の仕方	1 定期考査の成績 2 授業ノートの子習状況、提出物 3 校内模試、小テストへの取組 4 授業中の活動状況 1をベースに、2～4を加味して総合的に評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 Part1 Lesson 1 動詞・時制 文化 Lesson 2 助動詞 観光 Lesson 3 受け身 水資源 Lesson 4 不定詞 ニュース・情報 Lesson 5 分詞 映画・音楽 Lesson 6 関係代名詞 ファッション Lesson 7 比較 本	「文化」をテーマに、時制を用いて話したり書いたりして伝えます。 「観光」をテーマに助動詞を用いて話したり書いたりして伝えます。 「水資源」をテーマに、受け身を用いて話したり書いたりして伝えます。 「ニュース」をテーマに不定詞を用いて話したり書いたりして伝えます。 「映画」をテーマに、分詞を用いて話したり書いたりして伝えます。 「ファッション」をテーマに関係詞を用いて話したり書いたりして伝えます。 「本」をテーマに、比較表現を用いて話したり書いたりして伝えます。
2学期 Lesson 8 仮定法 発明・便利なもの Part 2 Lesson 1 感謝・謝罪 パーティー Lesson 2 感想 コンテスト・発表 Lesson 3 提案・勧誘 食べ物・食事 Lesson 4 助言・忠告 健康 Lesson 5 依頼 ボランティア Lesson 6 賛成・反対 暮らす場所 Lesson 7 意見 選挙	「発明」をテーマに、仮定法を用いて話したり書いたりして伝えます。 「パーティー」をテーマに、感謝の表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「コンテスト」をテーマに、感想を述べる表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「食べ物」をテーマに、提案する表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「健康」をテーマに、助言する表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「ボランティア」をテーマに、依頼する表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「暮らす場所」をテーマに、賛成・反対の表現を用いて話したり書いたりして伝えます。 「選挙」をテーマに、意見する表現を用いて話したり書いたりして伝えます。
3学期 Further Activity 1 Illustration / Listing Further Activity 2 Comparison / Contrast Further Activity 3 Cause and Effect Further Activity 4 Time Order	パラグラフの展開を意識して、[例示・列挙]を用いて表現します。 パラグラフの展開を意識して、[比較・対照]を用いて表現します。 パラグラフの展開を意識して、[原因・結果]を用いて表現します。 パラグラフの展開を意識して、[時間的順序・手順]を用いて表現します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型
単位数	4単位	教科書	LANDMARK Fit English CommunicationⅢ（啓林館）				
副教材							

学習目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養います。
学習の方法	英語を「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を通し、4技能の習得に向けて総合的に学習します。速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をするこゝや、聞いたり読んだりしたことをまとめる練習を行います。
評価の仕方	授業態度、特に授業に対する意欲や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を評価します。また、小テストや定期考査を通して、学習内容を確実に理解できているかを確認し、評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 Lesson 1~4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Emperor Penguins</b> &lt;動物・環境&gt; 南極の厳しい環境を生き抜くコウテイペンギンの生態</li> <li>• <b>Caffeine</b> &lt;食物・健康&gt; さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点</li> <li>• <b>Blood Is Blood</b> &lt;人権・生き方&gt; 血液の研究と人種差別撤廃に生涯を捧げた黒人医師</li> <li>• <b>Biomimetics</b> &lt;自然・化学&gt; 自然を模倣することで生み出される画期的な製品</li> </ul>
2学期 Lesson 5~9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Communication without Words</b> &lt;言語・比較文化&gt; コミュニケーションの70パーセントを占める身体言語</li> <li>• <b>Christmas Truce</b> &lt;戦争・平和&gt; 第一次世界大戦の戦場で起きたクリスマスの奇跡</li> <li>• <b>Political Correctness</b> &lt;言語・現代社会&gt; 差別や偏見のない中立的な用語の利用と問題点</li> <li>• <b>Global Water Crisis</b> &lt;環境・国際社会&gt; 世界の深刻な水不足と日本が取るべき行動</li> <li>• <b>Animal Math</b> &lt;動物・科学&gt; 自然界で生き残る秘訣は「数学」にある？</li> </ul>
3学期 Lesson 10 Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>The Poorest President in the World</b> &lt;生き方・現代社会&gt; 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカ</li> <li>• <b>My Messages to You</b> 英語教師が最後の授業で卒業生に贈る言葉</li> </ul>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	LANDMARK Fit English CommunicationⅢ（啓林館）				
副教材							

学習目標	英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養います。
学習の方法	英語を「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を通し、4技能の習得に向けて総合的に学習します。速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をするこゝや、聞いたり読んだりしたことをまとめる練習を行います。
評価の仕方	授業態度、特に授業に対する意欲や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を評価します。また、小テストや定期考査を通して、学習内容を確実に理解できているかを確認し、評価します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 Lesson 1～4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Emperor Penguins</b> &lt;動物・環境&gt; 南極の厳しい環境を生き抜くコウテイペンギンの生態</li> <li>• <b>Caffeine</b> &lt;食物・健康&gt; さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点</li> <li>• <b>Blood Is Blood</b> &lt;人権・生き方&gt; 血液の研究と人種差別撤廃に生涯を捧げた黒人医師</li> <li>• <b>Biomimetics</b> &lt;自然・化学&gt; 自然を模倣することで生み出される画期的な製品</li> </ul>
2学期 Lesson 5～9	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Communication without Words</b> &lt;言語・比較文化&gt; コミュニケーションの70パーセントを占める身体言語</li> <li>• <b>Christmas Truce</b> &lt;戦争・平和&gt; 第一次世界大戦の戦場で起きたクリスマスの奇跡</li> <li>• <b>Political Correctness</b> &lt;言語・現代社会&gt; 差別や偏見のない中立的な用語の利用と問題点</li> <li>• <b>Global Water Crisis</b> &lt;環境・国際社会&gt; 世界の深刻な水不足と日本が取るべき行動</li> <li>• <b>Animal Math</b> &lt;動物・科学&gt; 自然界で生き残る秘訣は「数学」にある？</li> </ul>
3学期 Lesson 10 Reading	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>The Poorest President in the World</b> &lt;生き方・現代社会&gt; 「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカ</li> <li>• <b>My Messages to You</b> 英語教師が最後の授業で卒業生に贈る言葉</li> </ul>

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	第6学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	NEW FAVORITE English Expression II (TOKYO SHOSEKI)				
副教材							

学習目標	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度を養います。 コミュニケーション活動の場面に応じた表現を習得します。 Lesson 1～12は学んだ文法事項を使って、Lesson 13～18は伝えたい情報を論理的に伝えるために、「聞く」・「書く」・「話す」練習をします。
学習の方法	必ず予習をして授業に臨みます。 授業では、音読、ペアワーク、グループワーク、発表などの活動を行います。声をしっかり出して、積極的に参加します。 学習内容の定着を図るために、定期考査、校内模試、小テストなどを行います。
評価の仕方	1 定期考査の成績 2 授業ノートの予習状況、提出物 3 校内模試、小テストへの取組 4 授業中の活動状況 1をベースに、2～4を加味して総合的に評価します。

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	Lesson 13	パラグラフの基本	パラグラフ構成の基本に沿って、ひとまとまりの英文が書けるようになります。
	Lesson 14	時間軸に沿ったパラグラフ	時間軸に沿ったひとまとまりの英文が書けるようになります。
	Lesson 15	結論を挙げ、その理由を説明するパラグラフ	結論とその理由を説明するひとまとまりの英文が書けるようになります。
	Lesson 16	物事の長所と短所を挙げるパラグラフ	物事の長所と短所を述べるひとまとまりの英文が書けるようになります。
2 学 期	Lesson 17	提案を述べるパラグラフ	提案をするひとまとまりの英文が書けるようになります。
	Lesson 18	問題を提起して提案を述べるパラグラフ	問題提起をしてから提案を述べるひとまとまりの英文が書けるようになります。
	Lesson 19	スピーチの実演	スピーチを作成し、実演できるようにします。
	Lesson 20	プレゼンテーションの実演	プレゼンテーションを作成し、実演できるようにします。
3 学 期	Great Speech Archive 1 I Have a Dream		先人のスピーチを鑑賞し、内容を理解して、自分自身の考えを表現できるようにします。
	Great Speech Archive 2 Education First		

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	家庭基礎（東京書籍）				
副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学習し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、家庭科ノート、プリント等を通して基礎的・基本的な内容を総合的に理解していきます。 ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動は、生活の中から課題を見つけ出し、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践することが重要です。 学習内容の定着のためには、家庭での実践が大切です。 年3回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	定期考査や日々の授業態度などを総合的に評価します。 また、座学における意欲や態度、総合的に物事を判断する力、実習における関心・意欲や技術点などを評価します。 提出物などを総合的に評価します。ホームプロジェクト等課題も出ます。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1章 生涯を見通す 第2章 人生を作る 第7章 衣生活をつくる 第4章 超高齢社会を共に生きる  (ホームプロジェクト)	自分らしい生き方、家族、生活を支える労働と生活時間等について学習します。 衣服の素材や管理の仕方、資源と環境問題等を学習します。 高齢者の心身の変化を知り、豊かな高齢期を迎えるしくみについて学習します。また社会とのつながりについても学習します。
2 学期 第3章 子どもと共に育つ 第6章 食生活をつくる 第8章 住生活をつくる  調理実習	子どもの発達や生活について学び、健やかに育つ環境について考えます。 現代の食生活の問題点や食品の選択や安全性、食品の栄養について総合的に学習します。 人と住まいとの関係について学び、健康、安全な住まい、住まいと環境について考えます。
3 学期 第9章 経済生活を営む 第5章 共に生き、共に支える 第10章 持続可能な生活を営む  調理実習	消費者として自立するために、意思決定から権利と責任、持続可能な社会について学習していきます。また、経済の仕組みを知り、独立して暮らすことを考えます。 共に支えあう社会の実現に向けて、制度や支援体制について学び、個人や地域の役割を考えます。 持続可能な社会の構築を目指し、生活者としての課題を学びます。

備考	実習費がかかります。調理実習の時にはエプロン等のふさわしい服装が必要です。
----	---------------------------------------

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	2単位	教科書	子どもの発達と保育 新訂版（実教出版）				
副教材							

学習目標	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を身に付けていきます。更にそれらの学習を生かして、家庭や地域において子どもの発達や子育てに関心を持ち、関わろうとする意欲や実際に関わることのできる能力と実践的な態度を育てることを目指します。
学習の方法	授業を中心に、教科書、プリント等を通して子どもの発達の特性や発達課題等を総合的に理解していきます。また全国高等学校家庭科保育技術検定合格に向けての勉強も行います。実習は、年間を通して行います。乳幼児の玩具の製作や幼児食等の調理、また実際に保育所も訪問し、幼児の生活を観察したり、交流学习をしたりすることを予定しています。実施後にはまとめのレポートを提出しましょう。学習の定着のためには、振り返りや復習をしっかりと行うことが重要です。年2回の定期考査や小テストに向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	定期考査に加え、小テストの成績などを総合的に評価します。 また、座学における意欲や態度、総合的に物事を判断する力、実習における関心・意欲や技術点などを評価します。 提出物などを総合的に評価します。ホームプロジェクト等課題も出ます。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 子どもの発達の特性 第2章 子どもの発達の過程 第3章 子どもの生活 (ホームプロジェクト)	発達と乳幼児の意義、発達と保育環境、児童観と発達観の違いなどを学習します。 子どもの発育、子どもの精神発達、人間関係の発達などを総合的に学習します。 生活と養護では、子どもの生活と健康、栄養と食事、衣生活と育児用品などを学習します。 絵本の読み聞かせなどの実習を行います。
2学期 第3章 子どもの生活 ・幼児食づくり ・乳幼児の玩具製作 第4章 子どもの保育 保育実習	子どもの遊びや生活習慣の形成、健康管理と事故防止について総合的に学習をします。 幼児食作りや乳幼児の玩具を製作することによって、子どもにとっての食事の意義や遊びの意義を学習します。 保育の意義と重要性、家庭保育と集団保育のそれぞれのよさ、保育の方法などを学習します。 子どもの様子を観察し、交流することで、体験的に学習します。保育士の様子も観察します。
3学期 第5章 子どもの福祉	子どもの福祉、子育て支援の仕組みや制度を学習します。

備考	本来は専門性が高い科目であり、保育にかかわる職業への希望や家庭における保育を重視し、できるだけ専門的な内容を精選し実施する予定です。実習に伴い実習費がかかります。
----	---



令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズI型3教科
単位数	2単位	教科書	フードデザイン cooking&arrangement（教育図書）				
副教材	調理実習ノート（基礎編）（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	健康と食生活の関わりについて理解し、豊かな食生活を構成する要素として栄養、食品献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を学び、実習を通して食生活を総合的にデザインする力を付けていきます。更にそれらの学習を生かして、家庭や地域において食育を推進できる力を付けることを目指します。
学習方法	授業を中心に、教科書、調理実習ノート、食品成分表、プリント等を通して豊かな食生活を構成する要素を総合的に理解していきます。年間を通して実習を行い、食品の適切な取扱い方法や主な調理操作を習得します。できるだけ少人数班での実習を行います。定着のためには、家庭でも実際に作る事が大切です。 年2回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理をはかる必要があります。
評価の仕方	定期考査に加え、レポートなどを総合的に評価します。また、座学における意欲や態度、総合的に物事を判断する力、実習における関心・意欲や技術点などを評価します。 提出物などを総合的に評価します。ホームプロジェクト等課題も出します。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 健康と食生活 第3章 調理と献立 調理実習 (ホームプロジェクト)	食を取り巻く現状では、自分の食生活を振り返り、栄養素等の摂取状況や、食糧自給率の問題、食意識の多様化などを学習します。 調理の基本では、調理の目的、食べ物のおいしさ、調理操作、食品の調理性を学習します。また、献立作成の留意点を学習し実践力を身に付けます。食文化や食卓作法等も学習をします。 日常食の調理実習を行います。
2学期 第2章 栄養素・食品の特徴 調理実習	健康に必要な栄養素と食品について、総合的に学習します。食品の特徴では、それぞれの食品の特徴や加工品について学習します。食品の加工では、加工の目的を学習します。 日常食の調理実習を行います。
3学期 第2章 栄養素・食品の特徴 調理実習	食品衛生と安全について学習します。 日常食だけでなく特別な日の食事の実習も行います。

備考	本来は、専門性が高く単位数の多い科目なのですが、2単位に合わせて内容を精選しながら学習していきます。実習費がかかります。実習時には、実習着を必ず着用してください。
----	---

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	情報	科目	情報 I	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	情報 I（東京書籍）				
副教材	情報 I 図解と実習 サブノート（日本文教出版社）						

学習目標	<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>主体的・対話的で深い学びの観点から、演習や実習などを通して、理論的な学習内容を習得します。特に、情報デザイン、プログラミング、データサイエンスは、いくつかの実習を盛り込んでいます。</p>
学習の方法	<p>教員が理論編の内容で説明した後、生徒が問題や例題などで主体的に学習を進め、生徒自身が解答を見つけることが重要です。</p> <p>活動を進める中で、情報をインターネットで検索し、文書処理ソフトウェアや表計算ソフトウェアを利用したり、データ分析サイトを活用したりすることで、情報活用能力も向上します。</p> <p>プログラミングでは、個々のペースで自由に実習を進め、主体的な学習につなげます。</p>
評価の仕方	<p>定期考査の成績をベースに、実習作品とタッチタイピングテスト、学習ノート、提出物、授業中の活動状況等を加味して総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 1章 情報社会 2章 情報デザイン	<p>情報やメディアの特性、問題解決、情報収集と分析 知的財産、個人情報、情報セキュリティ、情報モラル 情報技術の進歩・光と影 情報のデジタル化、デジタル表現、メディアと文化 ネットコミュニケーション、操作性の向上 コンテンツ設計</p>
2学期 3章 プログラミング	<p>コンピュータの構成、ソフトウェア、処理の仕組み 論理回路、アルゴリズム、プログラミング モデル化、シミュレーション</p>
3学期 4章 ネットワークの活用	<p>情報通信ネットワーク、デジタル通信、インターネット 安全安心を守る仕組み、情報システム、データベース 不確実な事象の解釈、2つのデータの関係</p>

備考	<p>5章「問題解決」は、各章の内容の理解を高めるための演習課題です。授業でも扱いますが、自学自習用の反復練習にも活用してください。</p>
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	コミュニケーション	科目	コミュニケーション&プレゼンテーション	学年	第5学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	コミュニケーション&プレゼンテーション(今治東中等教育学校)				
副教材	現代の語彙力向上の壺 語彙力をつける高める鍛えるノート(尚文出版) 読解・考察・まとめができる現代文記述問題攻略ノート習得編(数研出版)						

学習目標	伝え合う力を高めるために、「話すこと・聞くこと」の言語活動を通して、「適切に表現する能力」を身に付けます。
学習の方法	授業の中で、自分自身と向き合うとともに、志望理由書・自己推薦文を書く練習や面接練習を通して、進路実現に必要な力を身に付けます。また、課題等を通して、基礎的・基本的な知識や読解力・思考力・表現力を身に付けます。
評価の仕方	方法として、定期考査を50%程度、学習態度、プリントや課題の提出物を50%程度とし、総合的に評価します。なお、提出物は期限厳守。授業には積極的に参加すること。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 志望理由書・自己推薦文 1 志望理由書・自己推薦文とは 2 自分についての考察 3 学びたいことは何か 4 将来について考える 5 志望理由書を書く 6 自己推薦文を書く	志望理由書・自己推薦文を書くことの意義を理解します。 志望理由書・自己推薦書を書く準備として、自分自身や大学についてまとめます。 具体的な将来への展望を見据えて、志望理由を考えます。 準備した内容に基づいて、志望理由書・自己推薦書を書きます。
2 学期 個人面接 1 はじめに 2 個人面接の心構え 3 入退室について 4 面接対策シート 5 演習 グループ面接 1 はじめに 2 グループ面接の心構え 3 演習	面接を受けることの意義を理解します。 志望大学の受験報告書をもとに、質問事項を調べて対策を考えます。 対策シートと面接カードを利用して面接練習を行い、生徒で相互評価を行います。  対策シートを用いて、グループ面接の準備をします。 グループ面接を行います。
3 学期 小論文 1 はじめに 2 小論文と作文 3 よい小論文とは 4 小論文を書く	小論文と作文の相違点を理解します。 原稿用紙の使い方や内容の構成について確認します。

備考	
----	--

令和5年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	コミュニケーション	科目	グローバル・コミュニケーション	学年	第6学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	How to write a “Delicious” Essay（今治東中等教育学校）				
副教材							

学習目標	エッセイライティングを通して、より高い英語表現能力を身に付けることを目標としています。
学習の方法	エッセイの構成について、基礎的な知識を身に付けます。エッセイに必要な語彙・語法・文法を学び、身に付けます。様々なテーマについてエッセイを書き、英語表現能力を高めます。
評価の仕方	定期考査、提出物、授業態度、小テストの結果等を総合的に評価します。

学習計画及び内容		
単元	主な学習内容	
1 学 期	1 エッセイの構成 2 ブレインストーミング 3 アイデアを絞る 4 トピックセンテンスを書く 5 説明・具体例を書く 6 英語の語句で書く 7 つなぎ言葉を入れる 8 本論を書く 9 Intro と Conclusion を書く 10 全体を校正する	エッセイの基礎を学びます。 トピックに関する名詞を身に付けます。 段落構成について学びます。 トピックを決めます。 具体例を挙げます。 単文を書きます。 つなぎ言葉について学びます。 文をまとめます。 序論と本論について学びます。 各段落を校正します。 発表をします。
2 学 期	11 Exercise 1 12 Exercise 2 13 Exercise 3 14 Exercise 4	様々なテーマについて実際に書いてみます。 書いたエッセイを発表します。 自己評価をします。 相互評価をし、まとめをします。
3 学 期	15 Exercise 5 16 まとめ	今までに書いたエッセイを振り返り、まとめます。

備考	
----	--